

令和7年度第1回文京区地域福祉推進本部 次第

日時：令和7年5月14日(水) 9時30分～

場所：シビックセンター16階 庁議室

1 開会

2 議題

- (1) 令和7年度の分野別検討体制及びスケジュールについて
- (2) 分野別計画の策定に向けた実態調査の概要について
- (3) (仮称)若者計画の策定について

3 その他

4 閉会

《配付資料》

【資料第1号】令和7年度の分野別検討体制及びスケジュールについて

(別紙) 令和7年度 地域福祉推進協議会等 年間スケジュール (案)

【資料第2号】高齢者等実態調査の概要について

(別添 参考資料)【参考】前回調査項目(令和4年度文京区高齢者等実態調査
報告書からの抜粋)

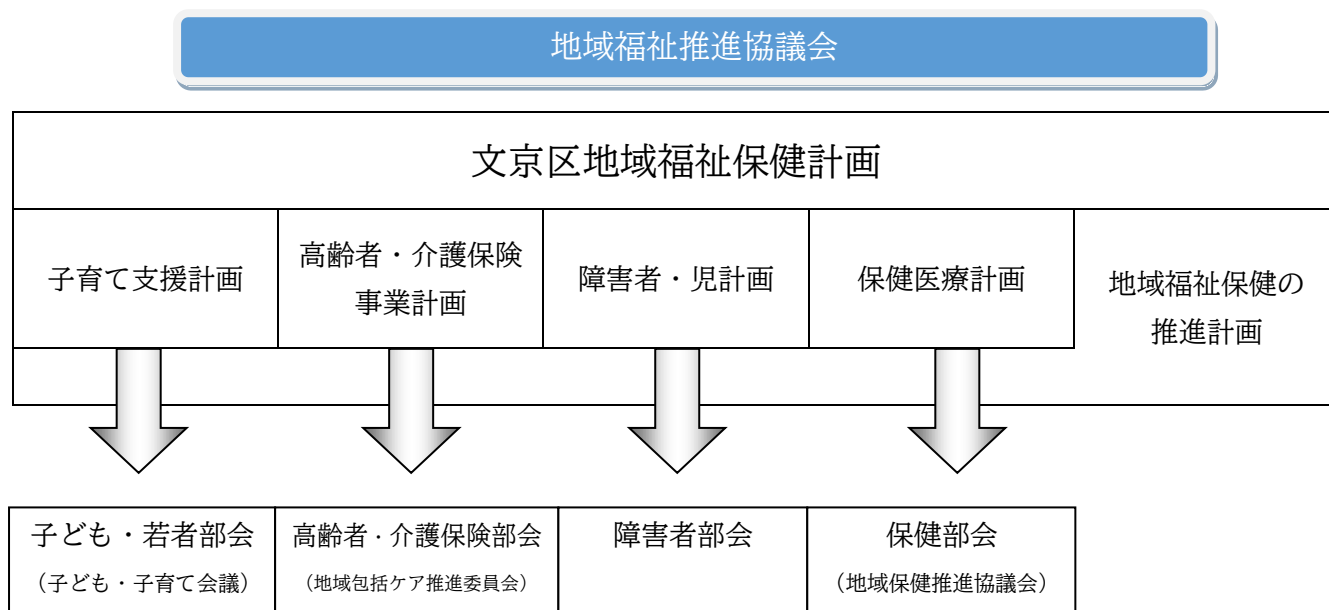
【資料第3号】障害者(児)実態・意向調査の概要について

【資料第4号】令和7年度障害者(児)実態・意向調査骨子(案)

【資料第5号】(仮称)若者計画の策定について

令和7年度の分野別検討体制及びスケジュールについて

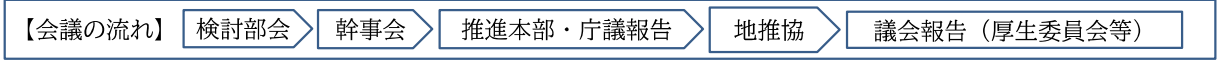
高齢者・介護保険事業計画、障害者・児計画の実態調査の実施に当たり、各実態調査の検討を行うため、地域福祉推進協議会の下に設置する、分野別検討部会（以下「部会」という。）を開催する。



※子ども・若者部会については、(仮称)若者計画の策定を行う。

<参考：計画の期間について>

令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度
地域福祉保健計画			地域福祉保健計画			地域福祉保健計画		
	子育て支援計画							
		(仮称)若者計画				(仮称)こども計画※R16年度まで		
高齢者・介護保険事業計画			高齢者・介護保険事業計画			高齢者・介護保険事業計画		
障害者・児計画			障害者・児計画			障害者・児計画		
						保健医療計画※R17年度まで		



		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
検討部会	高齢者・介護保険部会		・高齢者等実態調査の概要について			・高齢者・介護保険事業計画（進行管理対象事業）の進捗状況について ・高齢者等実態調査に係る調査項目（案）について	・高齢者等実態調査の調査項目について				・高齢者等実態調査の結果（案）について		・文京区高齢者等実態調査報告書について
	障害者部会		第1回障害者部会 ・実態調査概要検討 ・実態調査項目検討		第2回障害者部会 ・R6年度実績報告 ・実態調査項目検討						第3回障害者部会 ・実態調査結果報告		
	子ども・若者部会 （5回開催）		・若者の生活と意識に関する調査の結果 ・（仮称）若者計画の策定 ①目的 ②位置づけ、構成 ③計画期間、体制 ④理念、目標等		・（仮称）若者計画の策定 ①主要項目・方向性	・現計画の実績報告 ・（仮称）若者計画の策定 ①主要項目・方向性		・（仮称）若者計画の策定 ①中間のまとめ			・パプコメ、区民説明会の結果 ・（仮称）若者計画の策定 ①最終案		
幹事会 （4回開催）			・分野別検討体制及びスケジュール ・分野別計画の策定に向けた実態調査の概要 ・（仮称）若者計画の策定			・現計画の実績報告 ・実態調査の調査項目について ・（仮称）若者計画の検討状況		・（仮称）若者計画の中間のまとめについて			・実態調査の結果について ・（仮称）若者計画のパプコメ、区民説明会の結果について ・（仮称）若者計画の最終案について		
推進本部 （4回開催）													
地推協 （4回開催）												・実態調査の結果について ・（仮称）若者計画のパプコメ、区民説明会の結果について ・（仮称）若者計画の最終案について	
議会 （厚生委員会）				6月議会 ・分野別計画の策定に向けた実態調査の概要			9月議会 ・実態調査の調査項目について		11月議会			2月議会 ・実態調査の結果について	
議会 （子ども・子育て支援調査特別委員会）				・若者の生活と意識に関する調査の結果 ・（仮称）若者計画の策定 ①目的②位置づけ、構成 ③計画期間、体制 ④理念、目標等			・（仮称）若者計画の策定 ①主要項目・方向性		・（仮称）若者計画の策定 ①中間のまとめ		・パプコメ、区民説明会の結果 ・（仮称）若者計画の策定 ①最終案		

高齢者等実態調査の概要について

1 目的

文京区の65歳以上の高齢者及びその家族の生活実態や意識、介護保険サービスの利用状況等に加え、様々な分野の地域活動の主体として期待される50歳以上の現役世代の意識や意向及び介護サービスを提供する事業者の実情等を把握することによって、高齢者・介護保険事業計画（令和9年度～令和11年度）の策定に必要な基礎資料を得ることを目的として実施する。

2 調査の種類、対象者及び調査項目等

(1) 区民向け調査

調査名	対象者	調査項目（予定）	調査実施数	対象者数
① 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査（要介護1～5以外の高齢者）	第1号被保険者 ※1 要介護等の認定を受けていない被保険者 ----- 要支援認定者 ※2 在宅の要支援認定者	日常生活圏域ごとに被保険者の身体及び生活状況、地域活動、生きがい等	約3,000人 無作為抽出	約35,000人 ----- 約2,200人
② 50歳以上の現役世代調査	50歳以上の現役世代 ※3 要介護等の認定を受けていない50～64歳の第2号被保険者	日常生活圏域ごとに被保険者の地域活動、生きがい等	約3,000人 無作為抽出	約46,000人
③ 在宅介護実態調査	要介護認定者 ※4 在宅の要介護認定者及びその家族	被保険者本人の心身の状態、サービスの利用実態及びニーズ、介護者の就労状況等	約3,000人 無作為抽出	約6,000人

(2) 事業者向け調査

調査名	対象者	調査項目（予定）	調査実施数	対象者数
④ 介護サービス事業者調査	介護サービス事業者 区内で介護サービス事業所を運営する事業者	事業者概要、今後の事業展開、人材確保策、研修、危機管理、サービスの質の向上への取組等	約200事業者 者全数	約200事業者
⑤ 介護事業従事者調査	介護事業従事者 区内の介護サービス事業所に勤務する介護事業従事者等	本人の労働状況や仕事に対する思い等	約1,000人 事業者による抽出	不明

※1 「第1号被保険者」…要介護・要支援認定を受けていない65歳以上の被保険者

※2 「要支援認定者」…在宅で要支援認定を受けている65歳以上の被保険者

※3 「50歳以上の現役世代」…要介護・要支援認定を受けていない50～64歳の被保険者

※4 「要介護認定者」…在宅で要介護認定を受けている被保険者及びその家族

3 調査方法

アンケート（郵送配布・郵送又はインターネットによる回収）方式

4 調査項目

素案を作成の上、地域包括ケア推進委員会（高齢者・介護保険部会）で協議し、地域福祉推進協議会にて決定する。

5 業務委託

事業者へ委託して実施 ・ 調査票等の作成 ・ 発送 ・ 回収 ・ 集計 ・ 分析
・ コールセンター運営 ・ 報告書（概要版）作成
・ 会議等の運営支援等

6 調査時期

令和7年10月実施予定

7 今後のスケジュール（案）

令和7年	5月7日	第1回地域包括ケア推進委員会（調査概要の検討）
	5月14日	第1回地域福祉推進本部
	5月23日	第1回地域福祉推進協議会
	6月	6月議会（調査概要の報告）
	8月	第2回地域包括ケア推進委員会（調査項目の検討） 第2回地域福祉推進本部 第2回地域福祉推進協議会
	9月	9月議会（調査項目の報告） 第3回地域包括ケア推進委員会（調査項目の報告） 区報9/25号（調査実施の周知）
	10月	調査票発送・回収
	11月	集計・分析
令和8年	1月	第4回地域包括ケア推進委員会（調査結果概要の報告） 第4回地域福祉推進本部
	2月	第4回地域福祉推進協議会 2月議会（調査結果の報告）
	3月	調査報告書納品 第5回地域包括ケア推進委員会（調査結果の報告）

[参考]前回調査項目（令和4年度文京区高齢者等実態調査報告書からの抜粋）

第10期計画の作成に向けた各種調査の調査項目は、令和7年夏頃に国から示される予定です。
このため、令和4年度文京区高齢者等実態調査における調査項目を参考としてお示しします。

(1) 区民向け調査項目

必：国必須項目

才：国ワ[○]ション項目

※【 】がある設問は、選択肢としてそれを選んだ方に対する設問

カテゴリー	項番	調査項目	① 介護予防・日常生活 圏域ニーズ調査	② 50歳以上の現役 世代調査	③ 在宅介護実態調査 (郵送)
			国		国
あなたご自身、家族や暮らし	1	調査票の記入日	○ 必		
	2	調査票の記入者、聞き取り対象者（本人、家族等）	○		○ 必
	3	家族構成	○ 必		○ 必
	4	【ひとり暮らし以外の方】同居の方は全員が65歳以上か	○		○
	5	対象者の年齢	○	○	○ 才
	6	対象者の要介護・支援度	○		○ 必
	7	対象者の現在の暮らしの経済状況（苦しい、ゆとりがある等）	○ 必	○	○
お住まい	8	対象者の住まいの形態（一戸建て、集合住宅等）	○ 才	○	○
	9	現在の住まいは、今後介護が必要な状態になった場合に、住み続けられる住まいか	○	○	○
	10	住まいについて不便や不安を感じていること	○	○	○

カテゴリー	項番	調査項目	① 介護予防・日常生活圏域二丁目調査		② 50歳以上の現役世代調査	③ 在宅介護実態調査（郵送）	
				国			国
日常生活	11	階段を手すり等を使わず昇れるか	○	必			
	12	椅子から何もつかまらず立ち上がれるか	○	必			
	13	15分続けて歩けるか	○	必			
	14	過去1年で転んだ経験はあるか	○	必			
	15	転倒への不安は大きいかどうか	○	必			
	16	対象者の外出の頻度（週に1回以上外出しているか）	○	必			
	17	去年と比べて外出の回数が減っているか	○	必			
	18	身長・体重	○	必			
	19	食事・栄養、口の健康について	○	必・才			
	20	歯の数と入れ歯の利用状況について	○	必			
	21	誰かと食事をする機会はあるか	○	必			
	22	対象者が現在の生活で不安に感じていること	○		○		
	23	車の運転をしているか	○				
	24	【運転している方】運転している主な理由	○				
	25	物忘れが多いか	○	必			
	26	バスや電車を使って1人で外出するか	○	必			
	27	自分で食品・日用品の買物をしているか	○	必			
	28	自分で食事の用意をするか	○	必			
	29	自分で請求書の支払いをするか	○	必			
	30	自分で預貯金の出し入れをするか	○	必			
	31	今後（65歳以降）希望する働き方	○		○		

カテゴリー	項番	調査項目	① 介護予防・日常生活圏域二丁目調査		② 50歳以上の現役世代調査	③ 在宅介護実態調査（郵送）	
				国			国
介護等	32	対象者が介護を必要としているかどうか	○	必			
	33	介護が必要になっても安心して住み慣れた地域で暮らし続けるために必要なこと	○		○	○	
	34	（介護が必要になった場合に）希望する暮らし方（介護保険サービスを利用し自宅で生活等）	○		○	○	
	35	終末期を迎える場所の希望	○		○	○	
	36	対象者が家族等の介護をしているか	○		○		
	37	【介護等をしている人】2人以上の介護や子育て等をしているか	○		○		
	38	【複数の人の介護等をしている人】介護される人及び子ども等全員とその人数	○		○		
	39	高齢者施策、介護保険事業について、今後区に力を入れてほしいこと	○		○	○	
	40	高齢者あんしん相談センター（地域包括支援センター）の認知度	○		○	○	
	41	施設等への入所・入居の検討状況				○	必
	42	対象者の1か月間の介護保険サービスの利用状況				○	必
	43	【利用者】利用した介護保険サービスの種類と利用回数				○	必
	44	新型コロナウイルス感染症の影響で利用するようになった、又は利用しなくなったサービス				○	
	45	【未利用者】介護保険サービスを利用していない理由				○	オ
	46	対象者が知っている、及び今後利用したい介護保険サービス				○	
	47	介護保険サービス以外に対象者が利用している支援・サービス（配食、調理等）				○	オ
	48	今後の在宅生活継続に必要と感じる支援・サービス				○	オ
地域での活動	49	活動団体やグループ等にどのくらい参加しているか（種類・頻度）（ボランティア、町内会等）	○	必	○		
	50	地域住民による健康づくり等の活動に参加者として参加したいか	○	必	○		
	51	地域住民による健康づくり等の活動に企画・運営として参加したいか	○	必	○		
たすけあい	52	対象者の心配事等を聞いてくれる人は誰か	○	必	○		
	53	対象者が心配事等を聞いてあげる人は誰か	○	必	○		
	54	対象者の看病等をしてくれる人は誰か	○	必	○		
	55	対象者が看病等をしてあげる人は誰か	○	必	○		

カテゴリー	項番	調査項目	①介護予防・日常生活圏域二丁目調査		②50歳以上の現役世代調査	③在宅介護実態調査（郵送）	
				国			国
介護者	56	対象者が家族等から週にどのくらい介護を受けているか				○	必
	57	【家族の介護を受けている方】主な介護者の属性（続柄）		才		○	必
	58	【家族の介護を受けている方】主な介護者の属性（性別）				○	才
	59	【家族の介護を受けている方】主な介護者の属性（年齢）				○	必
	60	【家族の介護を受けている方】介護者が行っている介護等（身体介護、生活援助等）				○	必
	61	【家族の介護を受けている方】家族・親族の中で介護のために離職・転職した人の有無				○	必
	62	【家族の介護を受けている方】他の人の介護や子育て等をしているか				○	
	63	【家族の介護を受けている方】【他の人の介護や子育て等をしている方】介護される人及び子ども等全員とその人数				○	
	64	【家族の介護を受けている方】介護者の就労状況（フルタイム、パートタイム等）				○	必
	65	【家族の介護を受けている方】【就業中の方】介護をするに当たって働き方の調整をしているか				○	必
	66	【家族の介護を受けている方】【就業中の方】勤務先からどのような支援があれば両立できるか				○	必
	67	【家族の介護を受けている方】今後も働きながら介護を続けられるか				○	必
	68	【働いていない方】外出の頻度				○	
	69	【ふだん外出する方】過去に外出が控えめになったことがあるか				○	
	70	上記について克服したきっかけ等				○	
	71	【ふだん家にいる方】家族以外の人との会話の頻度				○	
	72	【家族の介護を受けている方】介護者が不安に感じる介護				○	必
	73	【家族の介護を受けている方】介護者の相談相手				○	
	74	【家族の介護を受けている方】介護者が必要な支援策				○	

カテゴリー	項番	調査項目	① 介護予防・日常生活圏域二丁目調査		② 50歳以上の現役世代調査	③ 在宅介護実態調査（郵送）	
				国			国
健康・介護予防	75	対象者の現在の健康状況（とてもよい、よくない等）	○	必	○	○	
	76	現在どの程度幸せか（0～10点を選ぶ）	○	必			
	77	この1か月間に気分が沈む等があったか	○	必			
	78	この1か月間で物事に対して興味がわかない等の感じがあったか	○	必			
	79	喫煙の有無	○	必			
	80	対象者が健康の維持・増進のため、現在取り組んでいること	○		○	○	
	81	【取り組んでいない方】取り組んでいない理由	○		○	○	
	82	対象者が健康の維持・増進のため、今後取り組んでみたいこと	○		○	○	
医療	83	対象者が現在治療中又は後遺症のある病気	○	必	○	○	オ
	84	かかりつけ医の有無	○		○	○	
	85	対象者が過去1年間に訪問による治療を受けた科目	○			○	
	86	新型コロナウイルス感染症やワクチン接種の情報の入手方法	○		○	○	
	87	新型コロナウイルス感染症が健康や身近な環境に与えた変化や影響	○		○	○	
	88	新型コロナウイルス感染症拡大の中で健康や生活を改善するための工夫	○		○	○	
	89	在宅医療をどのようにして知ったか	○			○	
認知症	90	対象者又は家族が認知症の症状があるか	○	必	○	○	
	91	対象者が認知症について知っていること	○		○	○	
	92	認知症の相談窓口を知っているか	○	必	○	○	
	93	認知症の相談をする場合、どの相談窓口を利用するか	○		○	○	
	94	認知症に関するどのような区の事業を知っているか	○		○	○	
	95	認知症について知りたい場合、どのような方法で情報収集するか	○		○	○	
	96	認知症高齢者や家族へ必要な支援	○			○	
設問数合計			69		37		59
設問数合計（前回）			65		31		55

(2) 事業者向け調査項目

④ 介護サービス事業者調査

カテゴリー	項番	調査項目
事業概要	—	事業所名
	1	提供している主なサービス
	1-1	主とするサービスを利用している方の要介護度別利用者数
	2	前年度の収支状況（事業実績）
	3	前年度の介護事業収入に占める人件費の割合
	4	事業所の経営主体（法人の種類）
	5	従業員数（正規、非正規）

カテゴリー	項番	調査項目
人材	6	前年度の従業員の採用者数と離職者数
	7	従業員の過不足状況
	7-1	【従業員不足の事業所】従業員不足の理由
	7-1-1	【従業員の採用が困難な事業所】採用が困難な原因（選択肢）
	7-1-2	【従業員の採用が困難な事業所】採用が困難な要因（記述）
	7-1-3	【従業員の採用が困難な事業所】採用が困難な時間帯及び職種
	8	人材確保のための取組
	9	今後取り組みたい人材確保策
	9-1	【高齢者の介護助手を確保したい事業所】人材確保の見込み
	9-2	【高齢者の介護助手を確保したい事業所】人材確保のために必要な支援
	9-3	【高齢者の介護助手を確保したい事業所】どのような負担軽減が見込まれるか
	10	外国人を雇用しているか
	10-1	【外国人を雇用している事業所】国籍と人数
	10-2	【外国人を雇用している事業所】E P A又は在留資格「特定技能1号」等により受け入れている人数
	10-2-1	【外国人をE P A又は在留資格「特定技能1号」等により受け入れている事業所】受入れの効果
	11	E P A又は在留資格「特定技能1号」等による受入予定
	11-1	【受入れ可能性がある事業所】E P A及び在留資格「特定技能1号」等での受入れに関する課題
	12	介護福祉機器（介護ロボット・ICT機器）の導入並びに従業員の身体的負担軽減及び業務効率に効果があるもの
	13	ワーク・ライフ・バランスの取組内容
	14	育児・介護休業への対応
	15	人材育成のための取組
	16	人材の育成・定着のために有効なポイント
	17	高齢者の権利擁護や虐待防止のために必要な取組
	18	従業員からの相談内容（パワハラ、セクハラ等）
	18-1	【職場内のパワハラ、セクハラの相談がある事業所】予防のための取組
	18-2	【利用者及びその家族からのパワハラ、セクハラの相談がある事業所】相談への対応

カテゴリー	項番	調査項目
危機管理体制	19	災害発生時への準備・対策
	20	災害発生時への対応訓練の実施状況
	21	不審者等に対しどのような準備対策を行っているか
	22	感染症予防等への一般的取組
	23	新型コロナウイルス感染症についてどちらから情報収集しているか
サービス向上	24	サービスの質向上への取組
医療との連携	25	医療との連携について行っている取組
	26	医療と介護の連携を進める上で必要と感ずること
ダブルケア	27	子育て等と介護を同時に行う家族がいる世帯の話を見聞きしたことがあるか
	27-1	【子育て等と介護を同時に行う家族】件数
ヤングケアラー	28	ヤングケアラーによる介護を見聞きしたことがあるか
	28-1	【子どもによる介護】件数
	28-2	【子どもによる介護】続柄、年代、内容
	29	ヤングケアラーが介護を行うことにより生じる問題
相談対応	30	利用者等から受けた相談の中で、相談窓口や支援機関が分からなかったこと
	30-1	【相談窓口や支援機関が分からなかったことがある事業所】内容
事業展開等	31	文京区内でどのようなサービスが不足しているか
	32	今後参入を考えているサービス
	33	文京区の高齢福祉施策や介護保険制度について、区からの期待する支援
設問数合計		52
設問数合計（前回）		54

⑤ 介護事業従事者調査

カテゴリー	項番	調査項目
基礎情報	1	性別
	2	年齢
	3	住所、通勤手段及び通勤時間
	4	職場のサービス種別（施設系、訪問系、通所系）
	5	勤務先の全体職員数
就業形態	6	就業形態（正規職員等）
	7	職種（介護支援専門員等）
	8	職位（管理者、主任等）
	9	今より上位の職位を目指すか
	10	社会人としての就労年数
	11	介護の仕事に興味を持ったきっかけ
	12	現在の職業を選んだ理由
	13	現在の職場のことを知ったきっかけ
	14	現在の職場を選んだ理由
資格	15	現在取得している資格
	16	今後取得したい資格
研修・講習会	17	職場以外で行われた研修等への参加
	17-1	【研修等に参加した方】文京区が主催した研修等への参加
	17-2	【研修等に参加した方】研修等の内容及びその後の業務への活用
	17-3	【研修等に参加していない方】参加していない理由
	18	今後どのような研修等に参加したいか

カテゴリー	項番	調査項目
勤務条件	19	介護業務及びその他の収入及び満足度
	20	1週間に働く労働日数
	21	1週間に働く労働時間
	22	深夜勤務はあるか
	22-1	【深夜勤務がある方】1か月当たりの深夜勤務日数
	23	有給休暇の取得状況
職場環境	24	現在の仕事の満足度
	25	今後も介護の仕事を続けたいか
	26	労働条件、仕事の負担についての悩み、不安、不満等
	27	職場の人間関係等についての悩み、不安、不満等
	28	人材の育成・定着のために有効なポイント
	29	利用者についての悩み、不安、不満等
	30	利用者の家族についての悩み、不安、不満等
	31	セクハラ・パワハラ等の経験
	32	現在の職場についてのやりがい（働きがい）
	33	介護に携わる人材を増やすために必要なこと
	34	介護の仕事を人に勧めたいか
	34-1	問34の回答を選んだ理由
意見、要望	35	文京区の高齢福祉施策や介護保険制度への意見、要望
設問数合計		40
設問数合計（前回）		40

障害者（児）実態・意向調査の概要について

1 目的

令和8年度に予定している障害者・児計画の策定に向け、計画の基礎資料となる障害者（児）の生活実態、サービス事業者の状況を調査するとともに、障害福祉施策への意向を把握するため、実態・意向調査を行う。

2 調査の種類、対象者等

本調査では、身体障害者、知的障害者、精神障害者、難病患者、障害児、サービス事業所及び長期入院施設を対象とした量的調査（アンケート調査）並びに区内施設等を利用する知的障害者・児、精神障害者・児を対象とした質的調査（グループインタビュー調査）を実施する。

(1) 量的調査（アンケート調査）

① 調査種類

- ア 在宅の方
- イ 施設に入所している方
- ウ 18歳未満の方
- エ サービス事業所の方
- オ 長期入院施設（病院）

② 調査対象者

ア 身体障害者

区内に居住又は区外施設等に入所している18歳以上の身体障害者手帳所持者
約1,920人（全体約4,200人）

（肢体・内部については無作為抽出、その他の障害については悉皆）

<内訳>

視覚：約380人（悉皆）

聴覚・平衡：約320人（悉皆）

音声・言語：約70人（悉皆）

肢体：約600人（約1,740人から無作為抽出）

内部：約550人（約1,660人から無作為抽出）

イ 知的障害者

区内に居住又は区外施設等に入所している18歳以上の愛の手帳所持者
約730人（悉皆）

ウ 精神障害者

区内に居住している18歳以上の精神障害者保健福祉手帳所持者
約2,170人（悉皆）

エ 難病患者

区内に居住している18歳以上の難病患者（医療券所持者）
約2,320人（悉皆）

オ 障害児

18歳未満の障害児通所給付等受給者証所持者（約490人）及び各手帳所持者（約540人）

合計 約1,030人（悉皆）

カ 区内事業者

区内にある障害福祉サービス、障害児通所支援サービスを行う事業所
約100施設

キ 長期入院施設（病院）

区民が長期入院している都内の精神科病院約100施設

(2) 質的調査（グループインタビュー調査）

① 調査種類

施設訪問等による聞き取り調査

② 調査対象者

区内施設・都外施設を利用する愛の手帳所持者、精神障害者保健福祉手帳所持者

3 調査項目

(1) 量的調査

対象者の属性（年齢、障害状況等）、居住環境、介護状況、外出環境、就労状況、防災、相談・情報提供等

(2) 質的調査

日中及び施設での過ごし方、今後希望する生活、余暇、相談、就労状況、防災等

4 調査方法

(1) 量的調査

原則、アンケート（郵送配布・郵送又はインターネットによる回収）方式。ただし、視覚障害者については、希望により訪問又は電話での聞き取り調査を実施する。

(2) 質的調査

区内施設等での訪問又はオンラインによる聞き取りを中心に行う。
東洋大学との協働で実施予定。

5 調査時期

(1) 量的調査

令和7年10月調査票配付・回収

(2) 質的調査

令和7年7月～9月グループインタビュー調査実施

6 今後のスケジュール（案）

令和7年	4月28日	第1回障害者部会（実態調査の概要）
	5月14日	第1回地域福祉推進本部
	5月23日	第1回地域福祉推進協議会
	6月	6月議会（調査概要の報告）

令和8年	7月	第2回障害者部会（調査項目の報告等） 【質的調査】グループインタビュー実施（～9月）
	8月	第2回地域福祉推進本部 第2回地域福祉推進協議会
	9月	9月議会（調査項目の報告等） 区報 9/25号（調査実施の周知）
	10月	【量的調査】調査票配付・回収 【質的調査】グループインタビュー集計・分析
	11月	【量的調査】集計・分析
	1月	第3回障害者部会（調査結果の報告） 第4回地域福祉推進本部
	2月	第4回地域福祉推進協議会 2月議会（調査結果の報告）
	3月	調査報告書納品

令和7年度障害者(児)実態・意向調査骨子(案)

【在宅の方】

対象者：18歳以上の身体障害者手帳・愛の手帳・精神障害者保健福祉手帳所持者、難病医療券所持者

カテゴリー	新規等	設問No.	調査項目	備考(前回からの修正点等)
1 本人について		1	回答者	
		2	本人の年齢	
		3	年収	
		4	収入の内訳	
		5	同居家族	
2 障害と健康について		6	障害種別	
		6-①	(6で「発達障害」と回答した場合)診断名	
		6-②	(6で「難病」と回答した場合)病名	
		7	手帳の種類	
		8	家族等が障害に気づいた時期(年代)	
		9	受診状況	
		10	受診しているかかりつけ医療機関の有無	
		11	必要な医療的ケア	
	新規	12	行動面における特別な支援の必要性の有無	
		13	日常生活で必要な介助や支援	
		14	(介助・支援が必要な方へ)主な介助・支援者	
		14-①	(家族や親族が介助している場合)主な介助者・支援者の年代	
		15	(家族や親族が介助している場合)主な介助者による介護状況	
		16	主な介助・支援者が支援できなくなった場合の対応	
		17	日常生活で困っていること	
		18	困ったときの相談相手	
3 相談や福祉の情報について		19	福祉情報の入手先	
		20	今後希望する生活	
		21	地域で安心して暮らすために必要な施策	
4 福祉サービスについて		22-①	現在利用しているサービス	
		22-②	サービスの満足度	
		22-③	(サービスに「やや不満」、「不満」を感じている場合)サービスの不満の理由	
		22-④	今後利用したいサービス	
		23	サービス等利用計画の作成手段	
		24	サービス等利用計画の作成で感じたこと	
		25	セルフプランにした理由	
		26	介護保険サービスの利用状況	
5 日中活動や外出について		27	平日の日の中の過ごし方	
		27-①	(27で「働いている、福祉施設等に通っている」と回答した場合)給与・工賃の月額	
		27-②	(26で「働いている」と回答した場合)仕事の内容	
		27-③	(26で「働いている」と回答した場合)1週間当たりの勤務時間	
		27-④	(26で「働いている」と回答した場合)仕事上で困っていること	
		27-⑤	(26で「福祉施設等に通っている」と回答した場合)福祉施設での困りごと	
	新規	27-⑥	(26で「福祉施設等に通っている」と回答した場合)福祉施設利用後の困りごと	福祉施設利用後の時間帯の支援の検討に必要であるため追加
		27-⑦	(26で「決まった予定はない」と回答した場合)その理由	
		28	一般就労するために希望する支援	
		29	休日の過ごし方	
		30	外出の頻度	
		31	外出の際に困っていること	
	新規	32	文化芸術活動への参加頻度	
	新規	32-①	(31で「参加したことがない」回答した場合)その理由	
6 住まいについて		33	住まいで困っていること	
		34	住まいに必要な支援	
	新規	35	グループホームに関する希望	希望なし・希望あり(1年後・3年後・5年後・10年後等)
	新規	35-①	(35で「グループホームの希望があると回答した場合)希望するグループホームの所在地域	
7 権利擁護・差別解消について		36	成年後見制度に関する認知度	
		36-①	成年後見制度について知っていること	
		37	福祉サービス利用援助事業の認知度	
		37-①	福祉サービス利用援助事業について知っていること	
		38	地域で差別や合理的配慮の不提供を感じる場面	
		39	地域(区役所、店舗、住民等)に求める合理的配慮	
		40	差別解消に必要なこと	
		41	合理的配慮に必要なこと	
8 感染症について	削除	39	感染症発生時の困りごと	
8 災害・緊急時の対策について		42	災害発生時の困りごと	
		43	災害に対する備え	
	新規	44	緊急時に対する備え	日常の介助者以外に緊急時に連絡できる者がいるか・緊急時に使えるサービスの備えがあるか等
9 自由意見		45	意見・要望	

令和7年度障害者(児)実態・意向調査骨子(案)
【施設に入所している方】

対象者:18歳以上の施設入所支援及び療養介護利用者

カテゴリー	新規等	設問No.	調査項目	備考(前回からの修正点等)
1 本人について		1	回答者(本人か、施設職員か、ご家族か等)	
		2	本人の年齢	
		3	年収	
		4	収入の内訳	
2 障害の状況について		5	障害種別	
		5-①	(6で「発達障害」と回答した場合)診断名	
		5-②	(6で「難病」と回答した場合)病名	
		6	手帳の種類	
		7	家族等が障害に気づいた時期(年代)	
	新規	8	行動面における特別な支援の必要性の有無	
3 施設入所について		9	施設の所在地域	
		10	施設入所年数	
		11	入所の理由	
4 施設での生活について		12	出身世帯に帰る(帰省)ときに困ること	
		13	施設生活の満足度	
		14	現在の暮らしで困っていることや不安に感じていること	
		15	医療的ケアの有無	
		16	(14で必要な医療的ケアがあると回答した場合)必要な医療的ケア	
		17	休日の過ごし方	
		18	外出の頻度	
	新規	19	文化芸術活動への参加頻度	
	新規	19-①	(31で「参加したことがない」回答した場合)その理由	
5 今後の暮らし方について		20	今後希望する生活	
		20-①	(20で「現在の施設で生活したい」と回答した方へ)その理由	
		20-②	(20で「退所したい」と回答した方へ)地域でどのような暮らしをしたいか	
		20-③	(20で「退所したい」と回答した方へ)どの地域で暮らしたいか	
		20-④	(20で「退所したい」と回答した方へ)退所後に暮らす地域にのぞむこと	
		21	地域で安心して暮らすために必要な施策について	
6 相談や福祉の情報について		22	困ったときの相談相手	
		23	福祉情報の入手先	
7 権利擁護・差別解消について		24	成年後見制度の認知度	
		24-①	成年後見制度について知っていること	
		25	福祉サービス利用援助事業の認知度	
		25-①	福祉サービス利用援助事業について知っていること	
		26	地域で差別や合理的配慮の不提供を感じる場面	
		27	地域(区役所、店舗、住民等)に求める合理的配慮	
		28	差別解消に必要なこと	
		29	合理的配慮に必要なこと	
8 感染症について	削除	28	感染症発生時の困りごと	
8 自由意見		30	意見・要望	

令和7年度障害者(児)実態・意向調査骨子(案) 【18歳未満の方】

対象者: 18歳未満の身体障害者手帳・愛の手帳・精神障害者保健福祉手帳所持者、難病医療券所持者、障害児通所支援受給者証所持者

カテゴリー	新規等	設問No.	調査項目	備考(前回からの修正点等)
1 本人について		1	回答者	
		2	本人の年齢	
		3	世帯年収	
		4	同居家族	
	新規	5	父親の就労状況	
	新規	6	母親の就労状況	
2 障害と健康について		7	障害種別	
		7-①	(5で「発達障害」と回答した場合)診断名	
		7-②	(5で「難病」と回答した場合)病名	
		8	手帳の種類	
		9	保護者が子どもの障害に気づいた時期(年代)	
		10	保護者等が子どもの障害をはじめてわかったときの状況	
		11	(11に関して)そのときの相談相手	
		12	受診状況	
		13	受診しているかかりつけ医療機関の有無	
		14	必要とする医療的ケア	
		14-①	医療的ケア児やその介助者のために必要な支援策	
	新規	15	行動面における特別な支援の必要性の有無	
		16	日常生活で必要な介助や支援	
		17	(16で介助・支援が必要な方へ)主な介助・支援者	
		17-①	(17で家族や親族が介助している場合)主な介助者・支援者の年代	
		17-②	(17で家族や親族が介助している場合)主な介助者による介護状況	
		18	保護者の悩み・不安	設問番号移動
3 相談や福祉の情報について		18	日常生活で困っていること	
		17	困ったときの相談相手	設問番号移動
		19	福祉情報の入手先	
		20	将来希望する生活	
		21	地域で安心して暮らすために必要な施策	
4 子育てにおける悩みについて	新規	22	保護者の子育てに関する感じ方	H.25実施の設問(楽しく感じる・つらく感じる等)
		23	保護者の悩み・不安	前回調査の設問No.15
		24	困ったときの相談相手	前回調査の設問No.17
5 福祉サービスについて		25	現在利用しているサービス	
		25-②	サービスの満足度	
		25-③	(サービスに「やや不満」、「不満」を感じている場合)サービスの不満の理由	
		25-④	今後利用したいサービス	
		26	障害児支援利用計画の作成手段	
		27	障害児支援利用計画の作成で感じたこと	
		28	セルフプランにした理由	
		29	障害児通所支援等サービスを利用していない理由	
6 教育・保育について		30	主な通園・通学先	
		31	(30で「小学校入学前」と回答した家族の方へ)通園生活等で困っていること	
		32	(30で「小学校入学前」と回答した家族の方へ)小学校はどの教育機関を希望するか	
		33	(30で「学校在学中」と回答した家族の方へ)通学生活等で困っていること	
		34	(30で「小学校入学前」または「学校在学中」と回答した家族の方へ)放課後や長期休業中の過ごし方	
		35	(30で「小学校入学前」または「学校在学中」と回答した家族の方へ)放課後や長期休業中の過ごし方の希望	
	新規	36	(30で「小学校入学前」または「学校在学中」と回答した家族の方へ)放課後や長期休業中の過ごし方の困りごと	
		37	(30で小学校(小学部)または中学校(中学部)に通っている方のご家族の方へ)中学校卒業後に希望する進路	
		38	(義務教育を終了した方へ)希望する進路 ※本人の希望と家族の希望をそれぞれ伺う	
		39	休日や余裕があるときの過ごし方	
	新規	40	文化芸術活動への参加頻度	
	新規	40-①	(40で「参加したことがない」回答した場合)その理由	
7 外出や住まいについて		41	外出の頻度	
		42	外出時に困っていること	
		43	住まいに必要な支援	
8 権利擁護・差別解消について		44	地域で差別や合理的配慮の不提供を感じる場面	
		45	地域(区役所、店舗、住民等)に求める合理的配慮	
		46	差別解消に必要なこと	
		47	合理的配慮に必要なこと	
9 災害対策について		48	災害発生時に困ること	
		49	災害に対する備え	
10 感染症について	削除	50	感染症発生時の困りごと	
10 自由意見		50	自由意見	

令和7年度障害者(児)実態・意向調査骨子(案)

【サービス事業所の方】

対象者：区内の指定障害福祉サービス事業所、障害児通所支援事業所等

カテゴリー	新規等	設問No.	調査項目	備考(前回からの修正点等)
1 事業運営について	新規	1	事業所の経営主体	
		2	回答者について(役職等)	自立支援協議会委員より追加希望
		3	事業所の開業年	
		4	提供しているサービス	
		5	事業所のサービス展開エリア	
		6	事業所の利用者数	
		7	前年度の事業収支	
		7-①	増減収の理由	
		8	事業所経営上で重視すること	
2 職員について		9	職員数(総数・常勤・非常勤・その他)	
		10	職員数(職種別)	
		11	職員数(経験年数別)	
		12	職員の充足状況	
		12-①	(問12で「不足する」と答えた事業所に対して)不足している職員の職種	
		13	退職者数(総数・常勤・非常勤・その他)	
		14	人材確保・育成のための取組	
		15	人材確保や質の向上に向けた連携先	
3 サービス提供について		16	サービス提供上の課題	
		17	サービス利用について利用者や家族から受ける相談・苦情内容	
		18	問題発生時の相談先	
		18-①	(18で「どこかに相談した」を選択した事業所に対して)相談した内容	
		19	支援に関する困難	
		20	サービス向上のための取組	
		21	区に不足しているサービス等	
		22	今後参入を考えているサービス等	
		23	事業拡大・新規参入する上で重視すること	
		24	新規参入に必要なこと	
		25	地域生活支援拠点の整備に必要なこと	
		26	今後の障害福祉施策充実に必要なこと	
4 強度行動障害のある方について	新規	27	強度行動障害のある方の受け入れ状況について	
	新規	27-①	(「受け入れていない」を選択した場合)その理由	
	新規	28	強度行動障害のある方の利用について	利用を断ったことの有無
	新規	28-①	(「断ったことがある」を選択した場合)その理由	
	新規	29	強度行動障害のある方への支援における課題	
	新規	30	強度行動障害のある方への支援において、行政や地域社会に期待する役割	
5 虐待防止について		31	虐待防止への取組について	
6 災害時の対策について		32	災害発生時の対策	
6 感染症対策について		28	感染症対策の取り組み	
7 権利擁護・差別解消について		33	利用者のうち成年後見制度利用した方が良いと思う人数	
		34	成年後見制度が利用に至らない理由	
		35	利用者のうち福祉サービス利用援助事業を利用した方が良いと思われる人数	
		36	福祉サービス利用援助事業が利用に至らない理由	
		37	地域で差別や合理的配慮の不提供を感じる場面	
		38	差別解消に必要なこと	
		39	合理的配慮に必要なこと	
8 自由意見		40	自由意見	

令和7年度障害者(児)実態・意向調査骨子(案)
【長期入院施設(病院)】

対象者:文京区に住民票がある長期入院患者又は文京区が元住所となっている長期入院患者がいる入院施設

カテゴリー	新規等	設問No.	調査項目	備考(前回からの修正点等)
1 本人について		1	性別	
		2	本人の年代	
		3	病名	
		4	生活保護の状況	
2 入院の状況		5	現在の入院形態	
		6	在院期間	
		7	入院状況	
		8	病院から見た退院の見通し	
3 本人の状況		9	退院を想定した場合の帰宅先	
		10	退院に向けた本人の意思	
		11	退院に対する家族の意向	
		12	本人の状況(SOSが出せるか)	
		13	本人の状況(服薬、通院の状況)	
4 自由意見		14	意見・要望	

（仮称）若者計画の策定について

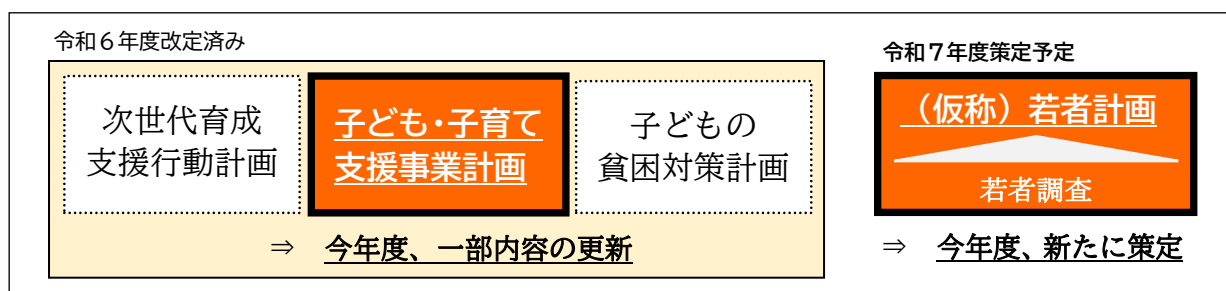
1 概要

子ども・若者を取り巻く社会環境は急速に変化しており、ひきこもりや若年無業者（ニート）、ヤングケアラー等、生きづらさを抱える子ども・若者の課題は複雑化・多様化しています。このような状況を踏まえ、令和6年度に実施した「若者の生活と意識に関する調査」（以下「若者調査」という。）の結果を基礎資料として、子ども・若者育成支援推進法第9条第2項に基づく、若者育成支援に係る計画（以下「（仮称）若者計画」という。）を策定し、若者施策の更なる推進を図ります。

2 計画の位置付け

（仮称）若者計画について、本区の地域福祉保健計画の分野別計画の一つである子育て支援計画に内包し、子育て支援計画を子どもから若者までの施策・事業に係る一体的な計画に位置付けます。

子育て支援計画



3 若者調査の結果

若者の生活と意識に関する現状を把握し、（仮称）若者計画の基礎資料を得ることを目的に実施した「若者調査」の結果は別紙のとおりです。

4 スケジュール（予定）

- 令和7年
- 5月 第1回地域福祉推進本部、第1回地域福祉推進協議会
議会報告（（仮称）若者計画の策定について）
 - 6月 （仮称）若者計画策定に係る若者ワークショップ（2回実施）
 - 7～8月 第2回、第3回子ども・子育て会議及び地域福祉推進協議会子ども・若者部会
第2回地域福祉推進本部、第2回地域福祉推進協議会
 - 9月 議会報告（検討状況について）
 - 10～11月 第4回子ども・子育て会議及び地域福祉推進協議会子ども・若者部会
第3回地域福祉推進本部、第3回地域福祉推進協議会

議会報告（中間のまとめについて）
12～1月 中間のまとめに係るパブリックコメント
令和8年1～2月 第5回子ども・子育て会議及び地域福祉推進協議会子
ども・若者部会、第4回地域福祉推進本部、第4回地
域福祉推進協議会
議会報告（最終案について）
3月 （仮称）若者計画策定

文 京 区
若者の生活と意識に関する調査報告書
概要版

令和7年4月



目 次

第1章 調査概要

1 調査の目的.....	1
2 調査の設計.....	1
3 回収状況.....	1
4 調査の内容.....	1
5 調査結果を見る上での注意事項.....	2

第2章 調査結果

1 自身・家庭の状況について.....	3
2 普段の生活について.....	9
3 家族の世話について.....	16
4 仕事について.....	18
5 社会とのつながりや文京区に関することについて.....	21
6 将来への希望感について.....	24
7 結婚・子育て・少子化対策について.....	25

第1章 調査概要

1 調査の目的

若者の生活や意識に係る現状を把握し、（仮称）若者計画の基礎資料を得ることを目的に、調査を実施しました。

2 調査の設計

- （1）調査対象者：区内在住の19歳から39歳までの者（基準日：令和7年1月1日）
- （2）調査方法：WEBアンケート（希望者には調査票を郵送）
- （3）調査期間：令和7年1月16日（木曜日）から令和7年2月19日（水曜日）まで

3 回収状況

- （1）配布数：70,672人（全数調査）
- （2）有効配布数：70,038人
- （3）有効回収数：14,064人
- （4）有効回収率：20.1%

4 調査の内容

- （1）自身・家庭の状況について
- （2）普段の生活について
- （3）家族の世話について
- （4）仕事について
- （5）社会とのつながりや文京区に関することについて
- （6）将来への希望感について
- （7）結婚・子育て・少子化対策について
- （8）若者施策等に関する意見について

5 調査結果を見る上での注意事項

- (1) 本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数です。
- (2) 年代別などのクロス集計は、無回答があるため合計が全体と一致しないことがあります。
- (3) 百分率(%)の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示しました。したがって、単数回答(1つだけ選ぶ設問)においても、四捨五入の影響で、%を足し合わせて100%にならない場合があります。
- (4) 複数回答(2つ以上選んでよい設問)においては、%の合計が100%を超える場合があります。
- (5) 表中の「-」は該当する回答がなかったことを示し、「0.0」は集計結果が四捨五入により小数第2位で0.1未満となったことを示しています。
- (6) 本文、表、グラフに引用されている調査票の文言は、表示の都合上、一部簡略化している場合があります。
- (7) 回答者数が30未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向を見るにとどめ、本文中ではふれていない場合があります。
- (8) 統計数値を考察するにあたっては、傾向をまとめて表現する場合には、おおむね以下のとおりにしています。

例	表現
17.0～19.9%	約2割
20.0～20.9%	2割
21.0～22.9%	2割を超える
23.0～26.9%	2割台半ば

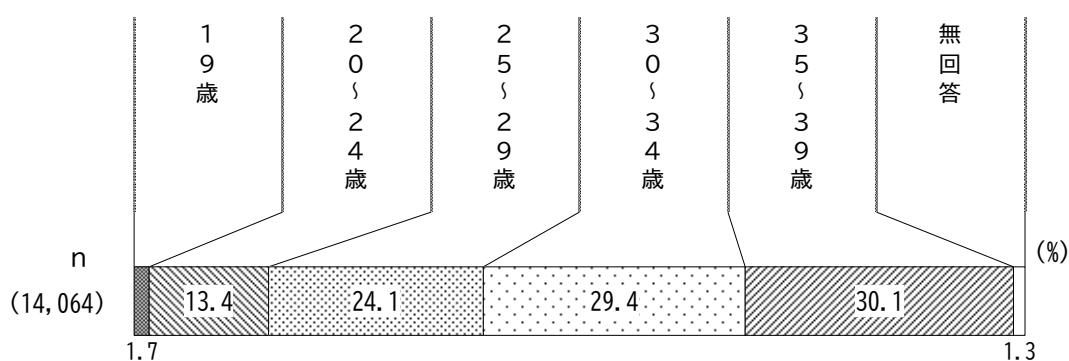
第2章 調査結果

1 自身・家庭の状況について

(1) 年齢

問2 令和7年1月1日時点のあなたの年齢をお答えください。

年齢は「35～39 歳」が 30.1%で最も高く、次いで「30～34 歳」が 29.4%、「25～29 歳」が 24.1%、「20～24 歳」が 13.4%となっており、年齢層が上がるにつれて高くなっています。



(2) 性別

問3 あなた自身が認識する性別をお選びください。(○は1つ)

性別は、全体でみると「女性」が57.0%、「男性」が40.5%となっています。それぞれの年齢層の回答を比較しても、傾向に差異は見られません。

		回答数 (n)	男性	女性	どちらとも言えない	わからない	答えたくない	無回答
単位：%								
全体		14,064	40.5	57.0	0.5	0.1	1.2	0.7
年齢層別	19歳	245	42.0	53.1	0.4	0.4	3.3	0.8
	20～24歳	1,879	42.8	54.1	1.1	0.1	1.8	0.1
	25～29歳	3,395	41.3	56.9	0.4	0.1	1.0	0.2
	30～34歳	4,130	40.0	58.5	0.4	0.1	0.7	0.3
	35～39歳	4,231	40.2	58.0	0.2	0.0	1.2	0.3

(3) 家族構成

問7※で、「2人以上」とお答えの方にうかがいます。

問7-1 あなたと一緒に住んでいる人について教えてください。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

※問7…あなたと一緒に住んでいる人は、あなたを含めて何人ですか。

家族構成は、全体でみると「配偶者・パートナー・交際相手」が72.5%で最も高く、次いで「子ども」が39.4%、「母親」が24.2%、「父親」が20.0%、「兄弟姉妹」が13.4%となっています。

年齢層別でみると、「配偶者・パートナー・交際相手」は30歳代で8割台と高くなっており、「子ども」は35～39歳で約7割と高くなっています。

		回答数 (n)	配偶者・ パートナー・ 交際相手	子ども	父親	母親	祖父	祖母	兄弟姉妹	その他の親戚など	友人・知人	無回答
単位：％												
全体		9,460	72.5	39.4	20.0	24.2	0.9	2.1	13.4	0.8	1.3	0.3
年齢層別	19歳	193	0.5	—	84.5	90.7	4.7	10.4	67.9	1.6	3.1	—
	20～24歳	1,043	8.8	0.9	70.2	83.0	4.6	9.1	53.8	1.5	3.7	0.2
	25～29歳	1,905	66.1	8.7	24.3	29.0	0.9	2.2	15.6	0.7	2.0	0.3
	30～34歳	2,916	85.3	41.0	9.9	13.0	0.2	0.7	5.3	0.7	0.7	0.3
	35～39歳	3,357	89.0	69.6	7.0	9.3	0.1	0.6	3.5	0.7	0.5	0.1

(4) 世帯収入

問8 あなたの家庭の家計(年間の収入)について、あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。ここでの「家庭」とは、住民票上の世帯ではなく、実際に日常生活を共にしている人を指します。(○は1つ)

世帯収入は、全体でみると「1,000～1,500 万円未満」が 20.5%と最も高くなっています。次いで「700～1,000 万円未満」が14.8%、「500～700 万円未満」が12.7%、「1,500～2,000 万円未満」が11.4%、「300～500 万円未満」が11.2%となっています。

年齢層別でみると、「1,000～1,500 万円未満」は 30 歳代で2割台半ばと高くなっています。一方、「100 万円未満」は 20～24 歳で約2割と最も高く、19 歳でも1割台半ばとなっています。

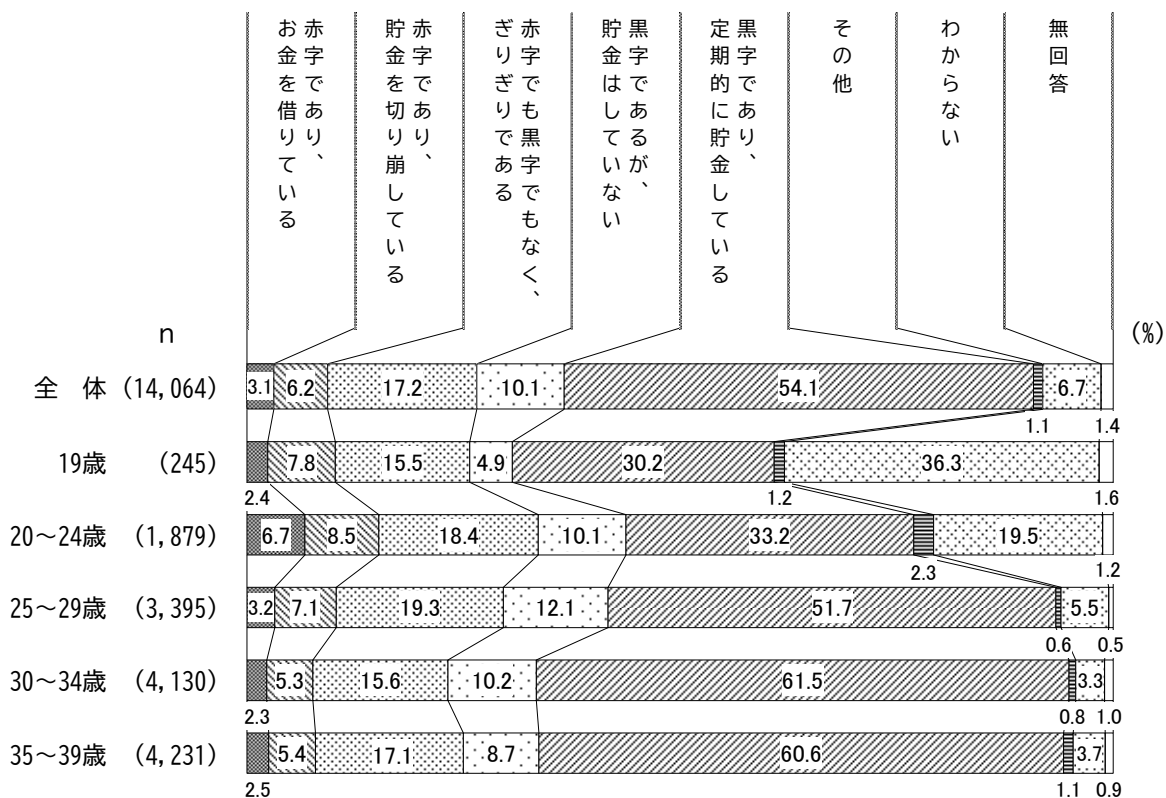
		回答数 (n)	100万円未満	100～300万円未満	300～500万円未満	500～700万円未満	700～1,000万円未満	1,000～1,500万円未満	1,500～2,000万円未満	2,000万円以上	わからない	無回答
単位：%												
全体		14,064	4.2	5.5	11.2	12.7	14.8	20.5	11.4	9.3	8.6	1.9
年齢層別	19歳	245	14.7	5.7	5.3	3.3	4.9	7.8	5.3	9.4	41.6	2.0
	20～24歳	1,879	18.6	12.3	12.8	6.5	6.2	7.2	3.9	6.3	25.0	1.1
	25～29歳	3,395	2.8	8.6	18.1	17.6	15.6	17.6	7.1	4.3	7.2	1.0
	30～34歳	4,130	1.2	2.9	9.7	14.1	16.6	25.8	13.9	10.0	4.4	1.3
	35～39歳	4,231	1.2	2.3	6.8	11.0	17.2	25.0	16.4	14.3	4.5	1.3

(5) 家計の状態

問9 あなたの家庭の家計(状況)について、一番近いものの番号1つに○をつけてください。ここでの「家庭」とは、住民票上の世帯ではなく、実際に日常生活を共にしている人を指します。(○は1つ)

家計の状態は、全体でみると「黒字であり、定期的に貯金している」が 54.1%と最も高く、次いで「赤字でも黒字でもなく、ぎりぎりである」が 17.2%、「黒字であるが、貯金はしていない」が 10.1%、「わからない」が 6.7%となっています。

年齢層別でみると、「黒字であり、定期的に貯金している」はおおむね年齢層が上がるにつれて高くなり、30 歳代では6割台となっています。「赤字であり、貯金を切り崩している」及び「赤字であり、お金を借りている」は 20～24 歳でやや高くなっています。



(6) お金の不安や悩みのある費用

問10 お金の不安や悩みがある費用について、あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

お金の不安や悩みがある費用は、全体でみると「居住費」が 61.9%と最も高く、次いで「食費」が 46.1%、「子どもの養育費」が 32.2%、「趣味・交際費」が 24.7%、「医療費」が 24.4%となっています。

世帯年収別でみると、「食費」は 500 万円未満で6割台と高く、おおむね年収が上がるにつれて低くなっています。一方、「子どもの養育費」はおおむね年収が上がるにつれて高くなり、1,500～2,000 万円未満で 54.3%と最も高くなっています。「趣味・交際費」と「医療費」は 1,000 万円未満で2割台から3割台とやや高くなっています。

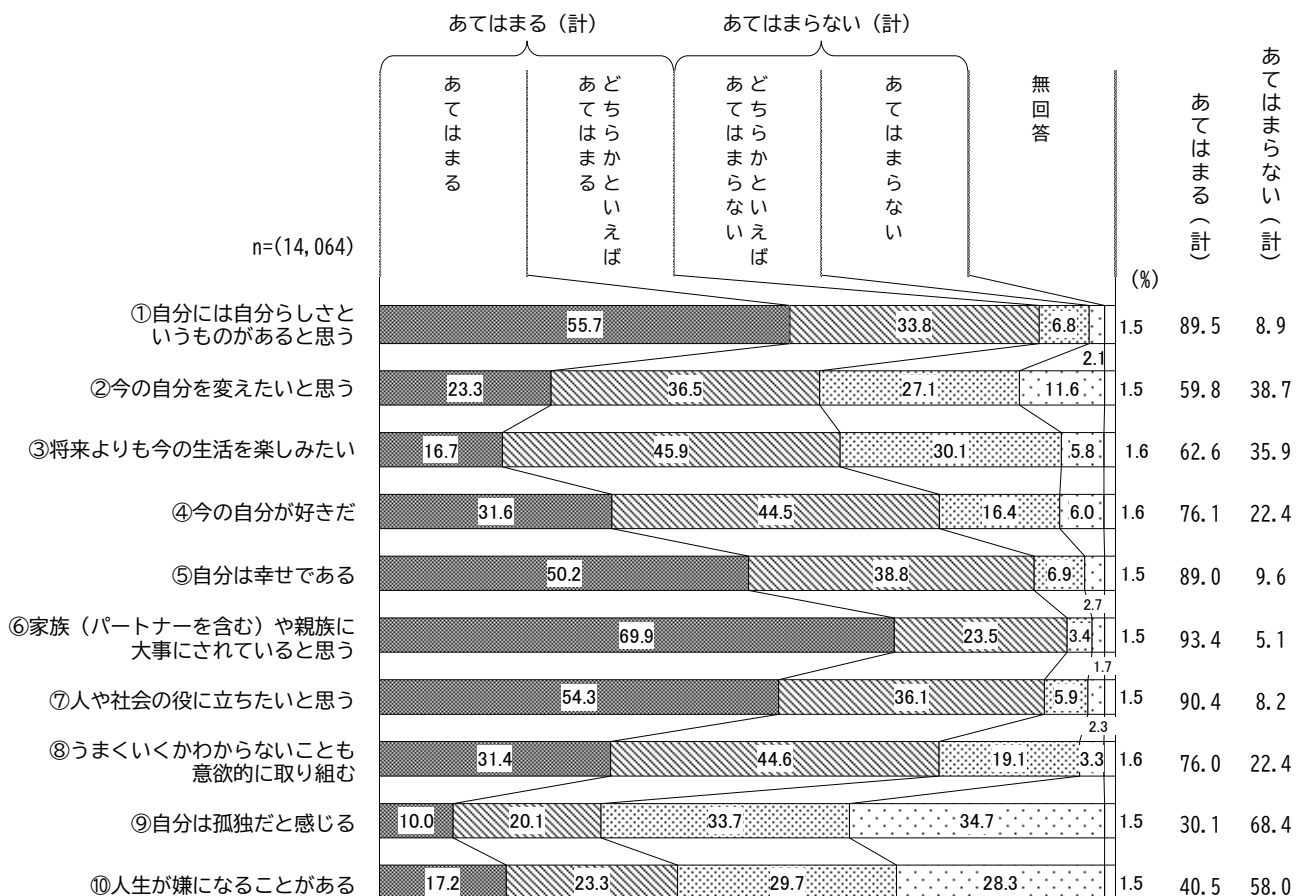
		回答数 (n)	居住費	食費	子どもの養育費	趣味・交際費	医療費	学費・奨学金返済	資格取得のための費用
単位：%									
全体		14,064	61.9	46.1	32.2	24.7	24.4	20.9	16.5
世帯年収別	100万円未満	585	65.3	64.4	4.8	33.7	27.5	38.1	23.6
	100～300万円未満	767	73.9	68.4	7.4	37.9	34.3	30.1	22.6
	300～500万円未満	1,571	70.1	61.6	11.3	39.1	34.8	19.2	24.8
	500～700万円未満	1,791	66.2	53.2	20.5	31.3	28.1	17.9	19.7
	700～1,000万円未満	2,079	66.3	48.8	35.7	24.9	23.6	20.4	16.9
	1,000～1,500万円未満	2,882	66.3	42.5	49.5	18.4	19.9	20.4	13.2
	1,500～2,000万円未満	1,602	61.0	32.3	54.3	13.0	17.5	19.3	10.8
	2,000万円以上	1,312	46.5	23.9	48.5	12.4	16.1	17.5	10.5
	わからない	1,207	41.4	42.9	14.7	29.3	29.1	23.4	16.6

		回答数 (n)	家族（パートナ）を含む経費	通信費	留学費	その他	特になし	無回答
単位：%								
全体		14,064	13.3	11.4	8.6	5.6	9.8	1.3
世帯年収別	100万円未満	585	5.1	20.9	25.8	2.9	5.8	0.3
	100～300万円未満	767	9.6	23.9	11.6	7.8	4.0	0.1
	300～500万円未満	1,571	10.6	19.6	5.2	7.1	5.8	0.5
	500～700万円未満	1,791	13.5	14.4	5.5	5.5	8.0	0.4
	700～1,000万円未満	2,079	15.2	11.2	6.1	6.3	8.7	0.2
	1,000～1,500万円未満	2,882	13.1	6.8	6.6	4.6	8.2	0.5
	1,500～2,000万円未満	1,602	14.3	4.3	8.6	3.9	10.7	0.5
	2,000万円以上	1,312	15.2	3.4	13.4	5.9	19.7	0.7
	わからない	1,207	17.5	14.2	11.9	6.1	18.8	1.2

(7) 自己肯定感等

問13 あなた自身について、次のことがどのくらいあてはまりますか。それぞれ、あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

自己肯定感等は、「あてはまる（計）」では「家族（パートナーを含む）や親族に大事にされていると思う」が 93.4%と最も高く、僅差で「人や社会の役に立ちたいと思う」が 90.4%と、どちらも9割台となっています。一方、「あてはまらない（計）」では、「自分は孤独だと感じる」にあてはまらない人が 68.4%と最も高く、次いで「人生が嫌になることがある」にあてはまらない人が 58.0%となっており、いずれも肯定的な傾向がうかがえました。



2 普段の生活について

(1) 普段の過ごし方

問14 あなたは、学校や仕事以外の時間をどのように過ごしていますか。3つまで○をつけてください。(○は3つまで)

普段の過ごし方は、全体でみると「家族（パートナーを含む）と話をする」が 54.8%と最も高く、次いで「テレビやインターネット動画等映像コンテンツを視聴する」が 46.4%、「スマートフォンやパソコンで、インターネットやSNSを見る」が40.1%となっています。

年齢層別でみると、「家族（パートナーを含む）と話をする」は 30 歳代で6割台と高くなっています。「友だちや交際相手と話をする」は 24 歳以下で3割台と高く、25～29 歳でも約3割となっています。また、「子どもの世話をする」は 35～39 歳で 37.0%、「勉強をする」は 19 歳で 36.3%と高くなっています。

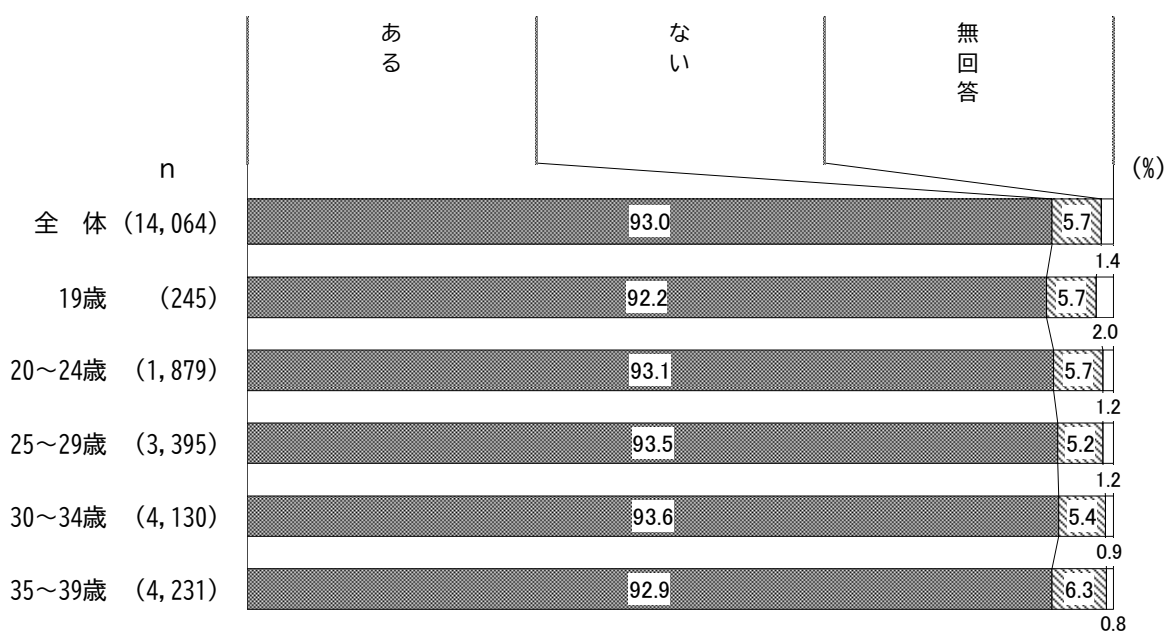
		回答数（n）	家族（パートナーを含む） と話を する	テレビやインターネット 画等映像コンテンツを視 聴動 する	スマー トフ オン やパ ソコ ン で、 イン ター ネッ トや SNS を見 る	友だ ちや 交際 相手 と話 をす る	食 事 や 買 い 物 に 出 か け る	子 ど も の 世 話 を す る	ゲ ー ム を す る	友 だ ち な ど と メ ー ル や LINE など で 連 絡 を 取 り 合 う	勉 強 を す る	本、 雑 誌、 マン ガな どを 読 む
単位：％												
全体		14,064	54.8	46.4	40.1	21.1	18.4	17.6	16.1	15.9	15.3	13.7
年齢層別	19歳	245	38.0	45.7	44.9	31.0	6.9	—	24.1	22.0	36.3	11.4
	20～24歳	1,879	34.9	48.2	43.1	35.6	14.5	0.2	22.1	22.7	23.8	11.5
	25～29歳	3,395	47.9	51.5	41.5	29.5	19.7	3.0	18.2	17.1	15.9	13.0
	30～34歳	4,130	61.4	47.6	39.6	17.4	18.7	19.0	15.3	15.4	13.0	14.0
	35～39歳	4,231	64.4	40.8	38.0	11.5	19.4	37.0	12.1	12.1	12.0	15.0

		回答数（n）	スポーツなどで体を動かす	ドライブ、サイクリング、散歩に出かける	スポーツ観戦、ライブなどのイベントに行く	映画館、ゲームセンター、カラオケに行く	社会参加活動（サークル活動・ボランティア活動など）をする	親の介護をする	親の代わりに家事や兄弟姉妹の世話をする	特に何もしない、ひとりで過ごす	その他	無回答
単位：％												
全体		14,064	10.7	4.4	3.7	2.3	1.5	0.2	0.1	5.5	2.3	0.7
年齢層別	19歳	245	6.5	2.9	2.0	3.7	3.7	－	－	6.9	2.9	1.2
	20～24歳	1,879	8.6	4.9	4.3	3.0	3.5	0.1	0.3	7.9	2.0	0.7
	25～29歳	3,395	11.6	5.1	4.6	2.9	1.3	0.2	0.1	5.8	1.6	0.8
	30～34歳	4,130	11.1	4.3	3.7	2.0	1.0	0.2	0.1	4.9	2.3	0.5
	35～39歳	4,231	10.5	4.0	3.0	1.5	0.9	0.2	0.1	4.6	2.9	0.4

(2) 安心できる居場所の有無

問15 今のあなたにとって安心できる場所、居心地の良い場所がありますか。(○は1つ)

安心できる居場所の有無は、全体でみると「ある」が 93.0%、「ない」が 5.7%となっています。それぞれの年齢層の回答を比較しても、傾向に差異は見られません。



(3) 安心できる居場所

問15で、「1 ある」とお答えの方にうかがいます。

問15-1 今のあなたにとって安心できる場所、居心地の良い場所はどこですか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

安心できる居場所は、全体でみると「自宅・自分の部屋」が 96.3%で最も高く、次いで「自宅以外の家（現在の自宅が実家でない場合は実家、友人宅、祖父母の家など）」が 26.9%、「カフェや喫茶店」が 19.6%、「職場（アルバイトを含む）」が 15.8%となっています。

年齢層別でみると、いずれの年齢層でも「自宅・自分の部屋」は9割台となっています。「自宅以外の家（現在の自宅が実家でない場合は実家、友人宅、祖父母の家など）」は 25～29 歳で 32.6%と最も高くなっています。

		回答数 (n)	自宅・自分の部屋	自宅以外の家（現在の自宅が実家でない場合は実家、友人宅、祖父母の家など）	カフェや喫茶店	職場（アルバイトを含む）	地域（公園、図書館、の活動の場など）	居酒屋などお酒を提供するお店	インターネット空間（SNS、オンラインゲームなど）	学校（部活動を含む）
単位：%										
全体		13,075	96.3	26.9	19.6	15.8	6.7	6.7	6.4	5.4
年齢層別	19歳	226	95.6	21.7	11.5	10.6	7.1	0.4	11.9	32.3
	20～24歳	1,749	94.1	26.8	17.2	14.2	7.1	4.5	9.8	23.0
	25～29歳	3,175	96.3	32.6	20.3	14.5	5.5	6.5	7.0	4.6
	30～34歳	3,867	97.3	26.8	19.4	15.5	6.5	7.0	6.0	1.2
	35～39歳	3,932	96.5	22.9	21.0	18.3	7.5	8.0	4.5	0.6

		回答数 (n)	習い事（塾・教室）、スポーツクラブ	ゲームセンター、カラオケ、ファミスタ、フードなどのお店	相談窓口、サポートしてくれる場所（電話やオンラインを含む）	その他	無回答
単位：%							
全体		13,075	5.1	2.2	0.7	1.6	0.1
年齢層別	19歳	226	4.4	6.6	-	0.4	-
	20～24歳	1,749	3.0	3.3	1.1	1.8	0.2
	25～29歳	3,175	5.3	2.8	0.7	1.4	0.1
	30～34歳	3,867	5.2	2.0	0.6	1.4	0.0
	35～39歳	3,932	5.9	1.3	0.6	1.8	0.0

(4) 安心できる居場所に必要なこと

問16 安心できる場所、居心地の良い場所として、どのような場所があれば良いと思いますか。
あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

安心できる居場所に必要なことは、全体でみると「静かに勉強や読書ができる場所」が 57.6%で最も高く、次いで「緑がある公園や広場」が 52.1%、「気軽に話ができる場所」が 48.7%、「文化や芸術（音楽、美術、料理など）に関する活動ができる場所」が 34.6%となっています。

年齢層別でみると、いずれの年齢層でも「静かに勉強や読書ができる場所」は5割以上となっています。「緑がある公園や広場」は30歳代で5割台半ば、「気軽に話ができる場所」は24歳以下で5割台と高くなっています。「ゲームやパソコンができる場所」は19歳で30.2%、20～24歳で23.6%と高くなっています。

		回答数（n）	静かに勉強や読書ができる場所	緑がある公園や広場	気軽に話ができる場所	文化や芸術（音楽、美術、料理など）に関する活動ができる場所	いろいろなスポーツができる体育館や運動場	ひとりでも安心して、家族（パートナーを含む）や友達には話せない悩みの相談ができる場所	ゲームやパソコンができる場所	子どもから高齢者までいろいろな年齢の人たちと触れ合える場所	その他	特にない	無回答
単位：％													
全体		14,064	57.6	52.1	48.7	34.6	25.2	18.0	17.6	10.0	3.1	3.6	1.6
年齢層別	19歳	245	60.0	41.6	54.7	28.6	26.9	18.8	30.2	8.2	4.1	3.3	2.9
	20～24歳	1,879	57.2	44.0	52.6	32.8	22.8	19.4	23.6	8.4	2.8	3.5	1.3
	25～29歳	3,395	56.5	48.2	49.3	35.5	23.4	17.6	17.1	7.9	2.3	3.3	1.4
	30～34歳	4,130	57.6	55.3	48.1	34.7	25.4	17.7	16.5	9.8	3.2	3.8	1.1
	35～39歳	4,231	58.9	56.8	47.4	35.0	27.7	18.2	15.7	13.1	3.9	3.7	1.2

(5) 外出頻度

問17 あなたは普段どのくらい外出しますか。(○は1つ)

外出頻度は、全体でみると「ほぼ毎日外出する（仕事・学校・遊び含めて）」が71.8%で最も高く、次いで「週に3～4日外出する（仕事・学校・遊び含めて）」が19.7%、「人づきあいや用事のために、週1日程度外出する」が4.2%となっています。

年齢層別でみると、いずれの年齢層でも「ほぼ毎日外出する（仕事・学校・遊び含めて）」が最も高く、19歳で76.3%、35～39歳で75.0%となっています。一方、「人づきあいや用事のために、週1日程度外出する」、「いつもは家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する」、「いつもは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」、「家からほとんど出ない」はいずれの年齢層でも1割未満となっています。

		回答数（n）	ほぼ毎日外出する（仕事・学校・遊び含めて）	週に3～4日外出する（仕事・学校・遊び含めて）	人づきあいや用事のために、週1日程度外出する	いつもは家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する	いつもは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける	家からほとんど出ない	無回答
単位：％									
全体		14,064	71.8	19.7	4.2	1.5	1.1	0.5	1.3
年齢層別	19歳	245	76.3	17.6	2.0	0.8	0.4	0.8	2.0
	20～24歳	1,879	69.6	24.2	2.9	1.3	0.5	0.4	1.0
	25～29歳	3,395	70.9	20.4	4.6	1.7	0.7	0.3	1.3
	30～34歳	4,130	70.9	20.3	4.6	1.5	1.4	0.5	0.8
	35～39歳	4,231	75.0	16.9	4.0	1.4	1.4	0.5	0.8

(6) 外出状況が現在の状態になった期間

問17で、「4」～「6」※とお答えの方にうかがいます。

問17-1 あなたの外出状況が現在の状態となって、どのくらい経ちますか。(○は1つ)

※4…いつもは家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する

※5…いつもは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける

※6…家からほとんど出ない

外出状況が現在の状態になった期間は、全体でみると「3年～5年未満」が26.5%と最も高く、次いで「1年～2年未満」が13.7%、「3か月未満」が12.8%、「2年～3年未満」が12.1%となっています。

年齢層別でみると、20～24歳は「6か月～1年未満」が最も多く、25歳以上では「3年～5年未満」が最も高くなっています。

		回答数 (n)	3 か 月 未 満	3 か 月 ～ 6 か 月 未 満	6 か 月 ～ 1 年 未 満	1 年 ～ 2 年 未 満	2 年 ～ 3 年 未 満	3 年 ～ 5 年 未 満	5 年 ～ 10 年 未 満	10 年 以 上	無 回 答
単位：%											
全体		430	12.8	7.9	10.0	13.7	12.1	26.5	10.0	6.0	0.9
年齢層別	19歳	5	20.0	20.0	-	20.0	-	-	40.0	-	-
	20～24歳	42	9.5	2.4	31.0	11.9	9.5	21.4	11.9	2.4	-
	25～29歳	94	11.7	8.5	6.4	16.0	13.8	27.7	10.6	4.3	1.1
	30～34歳	139	14.4	8.6	10.1	10.8	12.2	25.9	9.4	7.2	1.4
	35～39歳	141	12.1	8.5	7.1	16.3	11.3	29.8	7.1	7.8	-

※各年齢層別において、回答数(n)が30未満の項目は参考値とする。

(7) 現在の不安や悩みごと

問18 あなたは今、不安や悩みはありますか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

現在の不安や悩みごとは、全体でみると「将来のこと」が 68.2%と最も高く、次いで「仕事のこと」が 52.3%、「家の経済状況」が 34.5%、「自分の健康や病気のこと」が 26.8%、「子どもの園・学校や将来のこと」が 23.9%となっています。

年齢層別でみると、「将来のこと」は 20 歳代で7割台半ばと高くなっています。「仕事のこと」は 25 歳以上で5割台と高くなっています。「家の経済状況」、「自分の健康や病気のこと」、「子どもの園・学校や将来のこと」、「家族（パートナーを含む）の健康や病気のこと」などは年齢層が上がるにつれて高くなり、「子どもの園・学校や将来のこと」は 35～39 歳で 41.9%と最も高くなっています。一方、「進学、就職のこと」は19歳で74.3%、20～24歳で49.5%、「勉強のこと」は 19 歳で 53.9%と高くなっています。

単位：%		回答数（n）	将来のこと	仕事のこと	家の経済状況	自分の健康や病気のこと	子どもの園・学校や将来のこと	家族（パートナーを含む）の健康や病気のこと	家族（パートナーを含む）との関係	好きなことをする時間が少ない	進学、就職のこと	勉強のこと	外見に関すること	日常的に食事や洗濯など家事をしなければならぬ家
全体		14,064	68.2	52.3	34.5	26.8	23.9	20.3	16.4	15.8	13.9	12.5	11.6	10.0
年齢層別	19歳	245	68.2	23.7	20.0	18.4	1.2	7.3	11.8	11.0	74.3	53.9	18.4	2.4
	20～24歳	1,879	73.5	42.5	26.2	18.6	1.5	13.1	11.7	12.3	49.5	29.6	16.9	5.6
	25～29歳	3,395	74.3	55.9	34.1	24.5	10.3	16.4	14.2	12.9	12.6	12.1	11.8	7.7
	30～34歳	4,130	69.2	56.2	36.5	27.2	28.8	20.7	17.2	16.3	5.3	8.5	11.1	10.9
	35～39歳	4,231	60.7	52.5	37.7	32.4	41.9	27.2	19.9	19.7	4.1	6.9	9.2	13.4

単位：%		回答数（n）	交際相手との関係	友だちとの関係	先輩・後輩との関係	近所や地域の人との関係	自分の性別に関すること	インターネット上の人間関係	日常的に家族（パートナーを含む）の介護をしなければならない	日常的に兄弟姉妹の面倒を見なければならぬ	その他	特に不安や悩みはない	わからない	無回答
全体		14,064	9.0	6.4	2.8	2.6	1.1	1.0	0.8	0.3	3.3	4.4	0.3	1.6
年齢層別	19歳	245	6.1	16.3	4.5	3.7	3.3	0.8	0.4	0.8	2.4	2.9	—	1.6
	20～24歳	1,879	13.0	12.4	4.9	1.5	2.2	1.6	0.5	0.6	1.9	4.5	0.7	1.2
	25～29歳	3,395	13.9	6.8	3.2	1.4	1.0	1.2	0.6	0.1	2.6	4.6	0.5	1.6
	30～34歳	4,130	8.0	5.1	2.1	3.1	0.9	0.9	0.9	0.2	3.5	4.2	0.2	1.1
	35～39歳	4,231	4.5	3.9	2.0	3.4	0.7	0.8	1.0	0.2	4.4	4.5	0.2	1.3

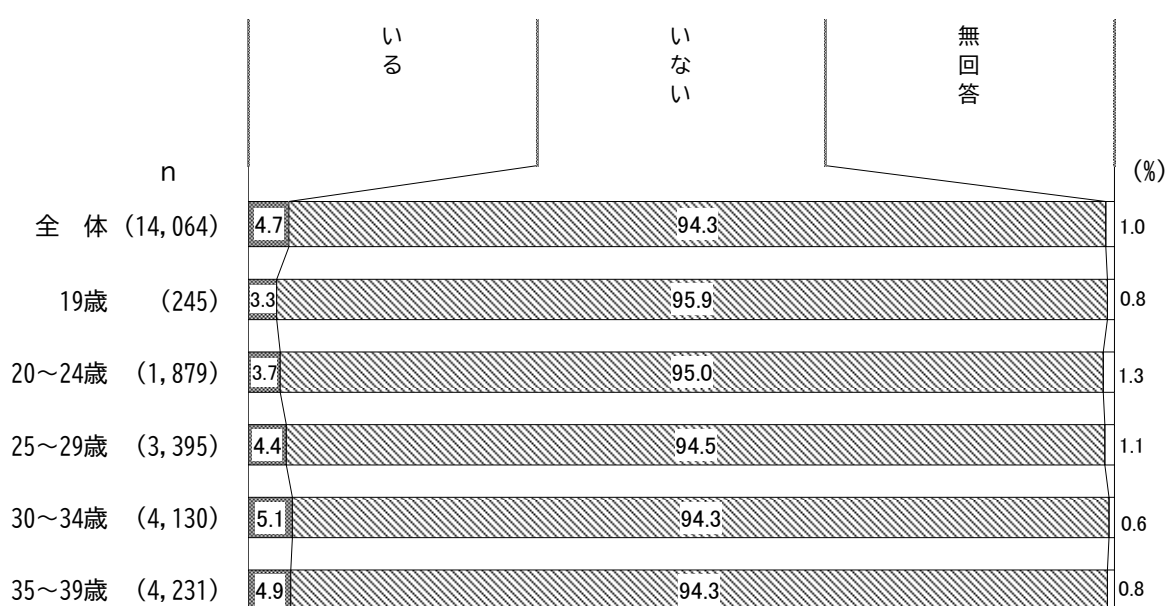
3 家族の世話について

(1) 日常的に世話をしている人の有無

問22 家族の中に、あなたが日常的に世話をしている人はいですか。(自分の子どもの育児や世話は除きます。)(○は1つ)

家族の中に日常的に世話をしている人の有無は、全体でみると「いない」が94.3%、「いる」は4.7%となっています。

年齢層別でみると、いずれの年齢層でも「いる」は1割未満となっており、「いない」が9割台半ばとなっています。



(2) 区に求める支援

問22で、「1 いる」とお答えの方にうかがいます。

問22-3 あなたが文京区に助けてほしいことや、必要としている支援はありますか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

区に求める支援は、全体でみると「金銭的な援助をしてほしい」が 41.7%と最も高く、次いで「将来のことについて相談にのってほしい」が 21.4%、「自分と同じ環境の人と話したい」が 14.5%となっています。

年齢層別でみると、いずれの年齢層でも「金銭的な援助をしてほしい」は最も高く、25～29 歳で 50.3%となっています。また、「将来のことについて相談にのってほしい」も 25～29 歳で 28.9%と高くなっています。

		回答数（n）	金銭的な援助をしてほしい	将来のことについて相談にのってほしい	自分と同じ環境の人と話したい	家族から離れて過ごせる場所がほしい	家族の世話を代わりにつてくれるサービスを教えてほしい	自分の今の状況について話を聞いてほしい	家族の病気や障害、ケアについてわからないことを教えてほしい	家族のある人に話を聞いてほしい	その他	必要としている支援はない	無回答
単位：％													
全体		655	41.7	21.4	14.5	13.7	13.6	10.5	9.6	7.0	5.6	22.9	5.2
年齢層別	19歳	8	25.0	25.0	—	12.5	12.5	—	12.5	—	12.5	37.5	—
	20～24歳	69	40.6	20.3	11.6	17.4	5.8	5.8	5.8	7.2	2.9	23.2	4.3
	25～29歳	149	50.3	28.9	12.1	12.1	7.4	12.1	8.7	8.1	2.0	22.8	3.4
	30～34歳	211	41.7	20.4	16.1	14.2	17.5	12.8	10.4	6.2	7.1	20.9	5.7
	35～39歳	208	37.0	15.9	14.9	13.9	17.3	9.1	11.1	7.2	7.2	25.0	6.7

※各年齢層別において、回答数(n)が30未満の項目は参考値とする。

4 仕事について

(1) 就学・就業状況

問25 就学・就業状況についてお答えください。(○は1つ)

就学・就業状況は、全体でみると「正社員・正規職員」が 65.5%と最も高く、次いで「学生（予備校生などを含む）」が 13.9%となっています。

年齢層別でみると、「正社員・正規職員」は 25 歳以上で7割台と高くなっています。一方、「学生（予備校生などを含む）」は 19 歳で 95.1%、20～24 歳で 64.3%と高くなっています。

単位：%		回答数（n）	学生（予備校生などを含む）	正社員・正規職員	契約社員など非正規職員	パート・アルバイト	自営業	自由業（個人で専門知識や技術を生かした職業）	専業主婦・主夫	働いていない（育休中等も含む）	その他	無回答
全体		14,064	13.9	65.5	3.9	3.3	2.3	2.3	3.0	4.3	0.7	1.0
年齢層別	19歳	245	95.1	—	—	2.4	0.4	—	—	0.8	0.4	0.8
	20～24歳	1,879	64.3	27.7	1.1	3.0	0.5	0.6	0.2	1.2	0.5	0.9
	25～29歳	3,395	10.0	74.1	4.2	2.6	1.3	1.8	1.0	3.4	0.6	1.0
	30～34歳	4,130	2.5	75.0	4.2	3.1	2.2	2.6	2.8	6.2	0.8	0.7
	35～39歳	4,231	1.0	70.6	4.7	4.2	4.2	3.2	6.2	4.6	0.7	0.6

(2) 働いていない理由

問25で、「7」「8」とお答えの方にうかがいます。

問25-2 現在、働いていない理由についてお答えください。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

※7…専業主婦・主夫

※8…働いていない(育休中等も含む)

働いていない理由は、全体でみると「育児をするため」が68.9%と最も高く、次いで「家庭内での家事などを専業としているため」が16.6%、「病気、けが、障害があるため」と「心のケアが必要な状況であるため」がともに9.7%となっています。

年齢層別でみると、いずれの年齢層でも「育児をするため」は最も高く、35～39歳で79.2%となっています。また、「心のケアが必要な状況であるため」も25～29歳で21.5%とやや高くなっています。

単位：%		回答数(n)	育児をするため	家庭内での家事などを専業としているため	病気、けが、障害があるため	心のケアが必要な状況であるため	働く意欲がわかないため	どんな仕事につきたいかわからないため	知識・能力に自信がないため	就職活動中のため	経済的に余裕があるため	人間関係に不安があるため
全体		1,024	68.9	16.6	9.7	9.7	8.8	8.4	8.2	7.4	6.9	6.3
年齢層別	19歳	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20～24歳	25	8.0	8.0	20.0	16.0	16.0	20.0	24.0	32.0	4.0	20.0
	25～29歳	149	40.3	9.4	18.8	21.5	15.4	13.4	12.8	14.1	5.4	12.1
	30～34歳	375	73.3	13.9	8.5	8.3	6.7	6.1	5.9	5.1	4.5	4.0
	35～39歳	457	79.2	21.4	6.8	7.0	8.1	8.1	7.9	5.5	9.6	5.7

単位：%		回答数(n)	労働条件・環境に関する不安があるため	やりたいことを目指して勉強中・修行中のため	資格試験などの準備のため	希望する職種に求人がないため	独立・開業に向けた準備のため	介護をするため	ボランティアや社会貢献活動に従事しているため	その他	特に理由はない	無回答
全体		1,024	5.5	4.7	3.7	1.7	1.4	1.0	0.3	5.8	0.0	2.6
年齢層別	19歳	2	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	50.0
	20～24歳	25	8.0	8.0	20.0	-	-	4.0	-	8.0	-	8.0
	25～29歳	149	6.0	6.7	8.1	2.0	3.4	1.3	-	3.4	-	2.7
	30～34歳	375	4.5	2.7	2.4	1.1	0.5	0.5	0.5	6.4	-	2.9
	35～39歳	457	5.7	5.5	2.2	2.2	1.5	1.1	0.2	5.9	-	1.8

※各年齢層別において、回答数(n)が30未満の項目は参考値とする。

(3) 仕事を選ぶ上で重視すること

問26 あなたが仕事を選ぶ上で重視することは何ですか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

仕事を選ぶ上で重視することは、全体でみると「職場の雰囲気や人間関係が良いこと」が72.8%と最も高く、次いで「仕事にやりがいを感じられること」が66.1%、「給料が高いこと」が63.1%となっています。

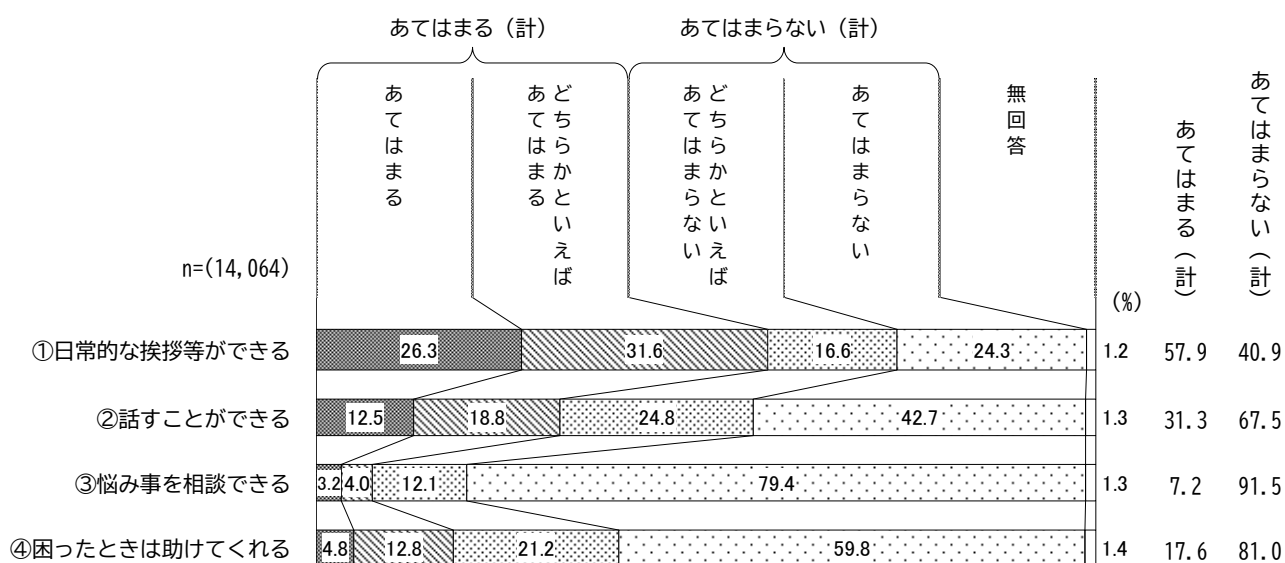
年齢層別でみると、いずれの年齢層でも「職場の雰囲気や人間関係が良いこと」は7割台と最も高くなっています。また、「仕事にやりがいを感じられること」も19歳で73.1%と高くなっています。「福利厚生が充実していること」は19歳で58.4%と高く、年齢層が上がるにつれて低くなっています。「働き方（在宅勤務等）が選べること」は30歳代で4割台と高くなっています。

単位：%		回答数 (n)	職場の 雰囲気や 人間関係 が良いこと	仕事に やりがい を感じら れること	給料が 高いこと	休みを 取りやす いこと	専門的 な知識 や技能 が身につ くこと	実力を 適正に 評価して くれる こと	残業や 休日出勤 が少ない こと	通勤の 便など、 地理的条 件が良い こと
全体		14,064	72.8	66.1	63.1	56.2	50.1	44.4	44.1	41.9
年齢層別	19歳	245	76.3	73.1	66.5	51.4	47.3	44.5	46.9	43.3
	20～24歳	1,879	72.6	66.5	65.0	50.4	49.5	40.3	43.7	41.4
	25～29歳	3,395	73.1	64.9	64.5	54.1	51.6	44.3	41.7	38.0
	30～34歳	4,130	73.2	65.3	64.5	58.3	50.8	45.0	44.8	41.7
	35～39歳	4,231	72.8	67.8	60.3	59.1	49.1	45.9	45.6	45.6

単位：%		回答数 (n)	福利厚生 が充実し ているこ と	働き方（ 在宅勤務 等）が選 べること	正社員・ 正規職員 で働くこ と	長い年数 働き続け られるこ と	その他	特にな い	無回答
全体		14,064	41.5	40.6	38.6	29.2	1.1	0.5	1.4
年齢層別	19歳	245	58.4	30.2	35.9	25.7	1.2	1.2	1.6
	20～24歳	1,879	48.2	29.3	35.7	24.7	0.9	0.4	1.6
	25～29歳	3,395	43.8	38.1	40.9	26.5	0.9	0.3	1.1
	30～34歳	4,130	40.4	42.9	38.5	29.6	1.1	0.3	1.1
	35～39歳	4,231	37.1	46.0	38.8	33.4	1.3	0.7	1.0

(1) 地域の人との関わり状況

地域の人との関わり状況は、「あてはまる（計）」では「日常的な挨拶等ができる」が 57.9%と最も高く、次いで「話すことができる」が 31.3%となっています。一方、「あてはまらない（計）」では、「悩みごとを相談できる」と感じていない人が 91.5%と最も高く、次いで「困ったときは助けてくれる」と感じていない人が 81.0%となっており、いずれも否定的な傾向がうかがえました。



(2) 社会参加活動に不参加の理由

問29※で、「10 特に、社会参加活動はしていない」とお答えの方にかがいます。

問29-1 参加していない理由は何ですか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

※問 29…あなたは、現在、次のような社会参加活動をしていますか。

社会参加活動に不参加の理由は、全体でみると「日々の生活が忙しく、時間的余裕がないから」が 55.9%と最も高く、次いで「地域でどのような活動が行われているのか知らないから」が 48.9%、「参加方法がわからないから」が 35.1%、「関心がないから」が 32.1%となっています。

年齢層別でみると、いずれの年齢層でも「日々の生活が忙しく、時間的余裕がないから」は5割台と最も高くなっています。また、「地域でどのような活動が行われているのか知らないから」も 25～29歳で 52.0%と高くなっています。「一緒に参加する知人・友人がいないから」は 19歳で 38.2%と高く、年齢層が上がるにつれて低くなっています。

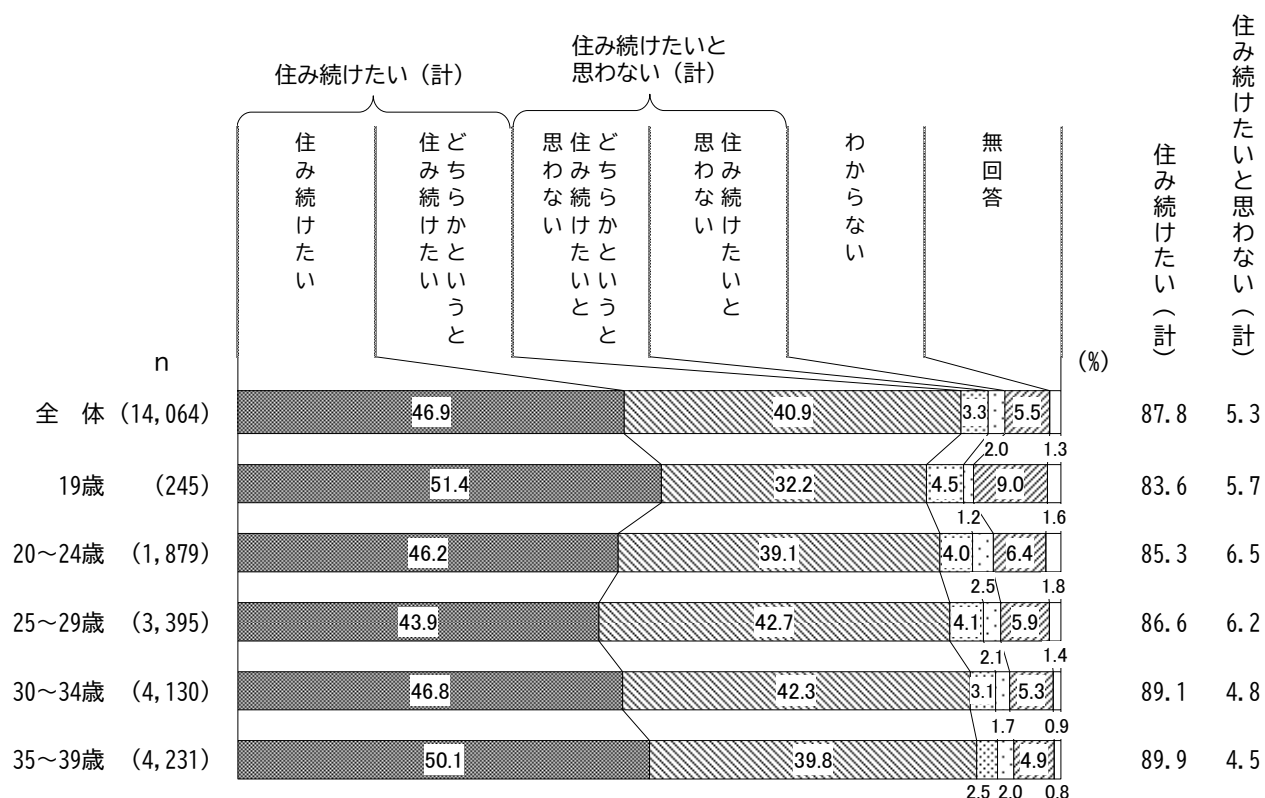
			回答数（n）	的日 余裕 がない から	らわ れ域 でど のよ うな 活動 が行 われ てい るの か知 らな いから	参加 方法 がわ から ない から	関 心 が ない から	が 一 緒 に 参 加 す る 知 人 ・ 友 人	活 動 の 時 間 や 日 程 が 合 わ な い から	必 要 性 を 感 じ な い から	手 だ か ら	人 付 き 合 い や 人 間 関 係 が 苦 手	経 済 的 余 裕 が ない から	地 域 の 活 動 が 盛 ん で は ない から	そ の 他	無 回 答
単位：％																
全体		9,570	55.9	48.9	35.1	32.1	27.6	23.6	21.5	21.1	10.5	5.9	2.6	0.3		
年 齢 層 別	19歳	157	54.8	40.8	22.9	31.2	38.2	28.0	17.2	19.7	6.4	6.4	4.5	0.6		
	20～24歳	1,311	55.3	49.7	33.5	36.6	34.5	23.3	18.5	18.9	10.8	8.4	2.1	0.2		
	25～29歳	2,646	54.4	52.0	36.9	33.3	28.5	22.0	21.9	18.3	13.2	6.3	2.3	0.3		
	30～34歳	2,951	55.0	49.5	35.0	32.6	26.0	23.0	23.1	22.2	9.9	5.2	2.7	0.4		
	35～39歳	2,394	59.5	45.2	35.2	27.7	24.1	25.9	20.9	23.8	8.2	5.0	3.0	0.3		

(3) 永住希望の有無

問31 これからも文京区に住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

永住希望の有無は、全体でみると「住み続けたい（計）」が 87.8%、「住み続けたいと思わない（計）」が 5.3%となっています。

年齢層別でみると、いずれの年齢層でも「住み続けたい（計）」は8割台、「住み続けたいと思わない（計）」は1割未満となっています。また、「住み続けたい」は19歳と35～39歳で5割台と高くなっています。



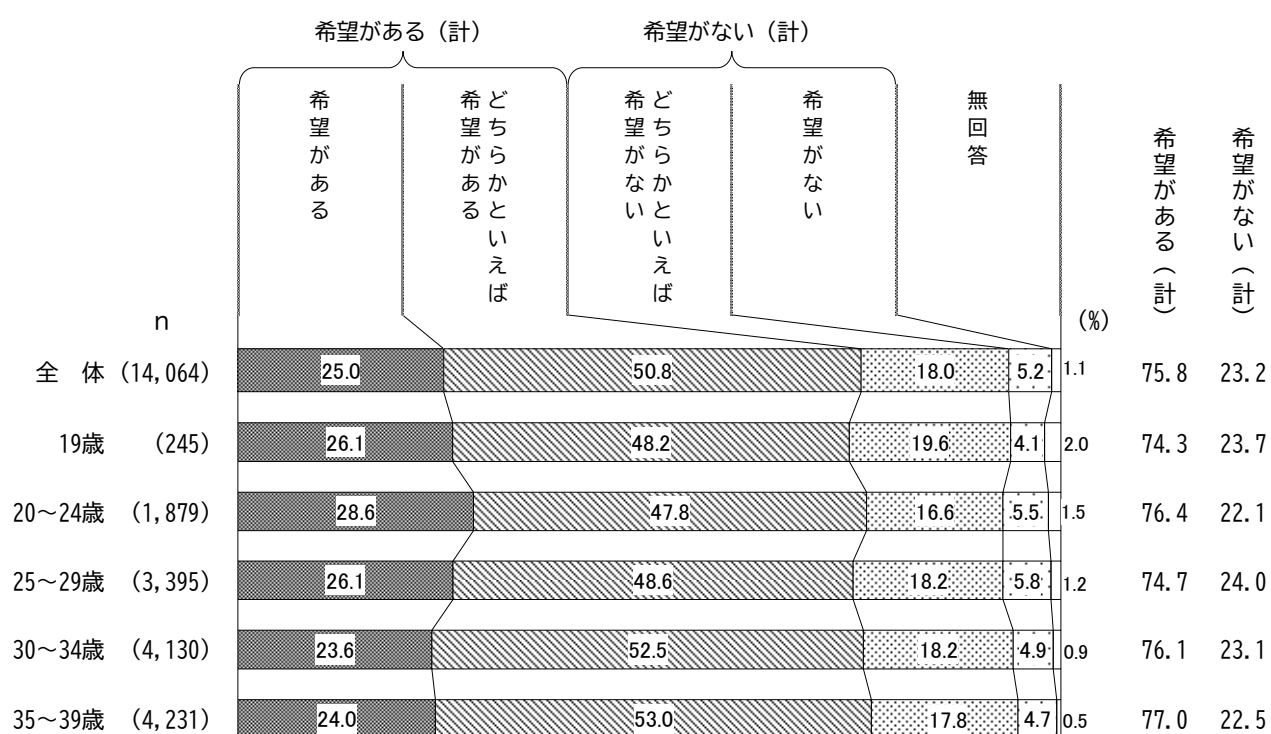
6 将来への希望感について

(1) 将来への希望感

問36 自分の将来について明るい希望を持っていますか。(○は1つ)

将来への希望感は、全体でみると「希望がある（計）」が75.8%、「希望がない（計）」が23.2%となっています。

年齢層別でみると、いずれの年齢層でも「希望がある（計）」は7割台、「希望がない（計）」は2割台となっています。また、「希望がある」は20～24歳で約3割、「どちらかといえば希望がある」は30歳代で5割台と高くなっています。



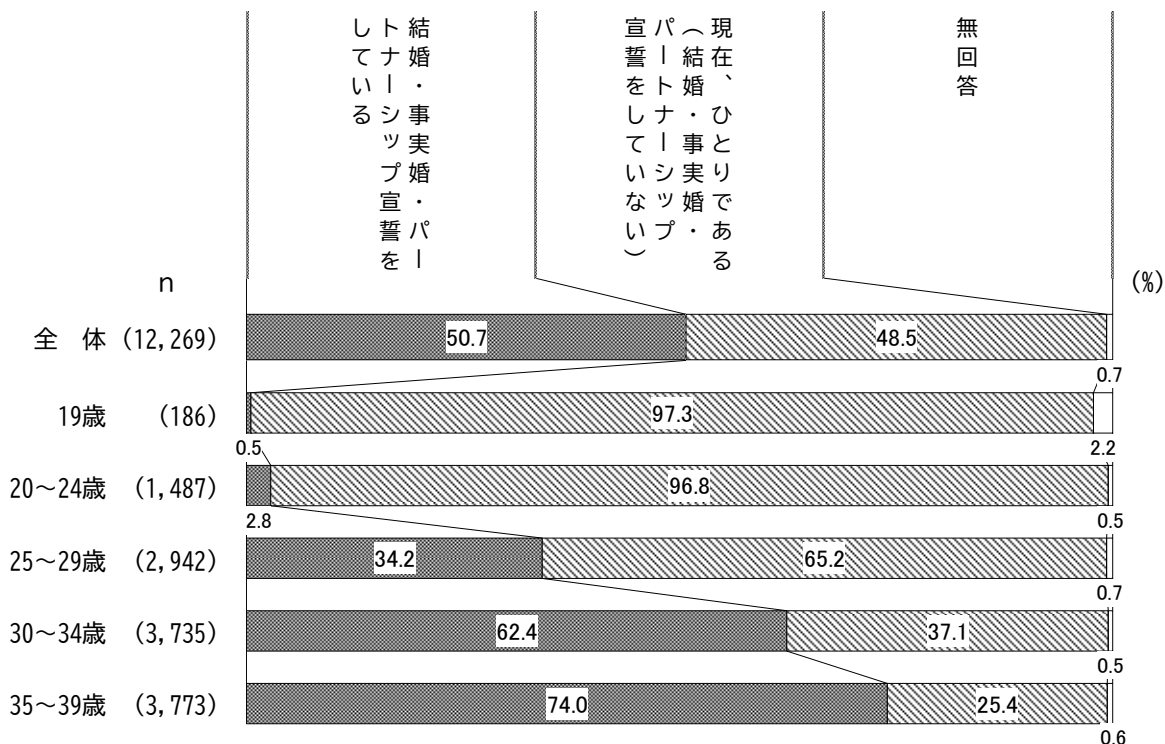
7 結婚・子育て・少子化対策について

(1) 婚姻状況（事実婚等含む）

問39 現在のあなたの状況をお答えください。(○は1つ)

婚姻状況（事実婚等含む）は、全体でみると「結婚・事実婚・パートナーシップ宣誓をしている」が 50.7%、「現在、ひとりである（結婚・事実婚・パートナーシップ宣誓をしていない）」が 48.5%となっています。

年齢層別でみると、「結婚・事実婚・パートナーシップ宣誓をしている」は年齢層が上がるにつれて高くなり、35～39歳で74.0%となっています。一方、「現在、ひとりである（結婚・事実婚・パートナーシップ宣誓をしていない）」は24歳以下で9割台となっています。



(2) 国や自治体に求める支援

問39で、「2 現在、ひとりである（結婚・事実婚・パートナーシップ宣誓をしていない）」とお答えの方にうかがいます。

問39-3 国や自治体に期待する結婚支援、パートナーシップに関する支援はどんなことですか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

国や自治体に求める支援は、全体でみると「住まいや暮らしへの経済的支援」が 50.3%と最も高く、次いで「雇用や収入の安定化を目指した施策」が 37.5%、「出会いの場や機会を創出するための支援」が 22.2%となっています。また、「特にない」は 28.3%となっています。

年齢層別でみると、「住まいや暮らしへの経済的支援」は20歳代で5割台と高くなっています。また、「雇用や収入の安定化を目指した施策」も 20～24歳で 41.7%と高くなっています。

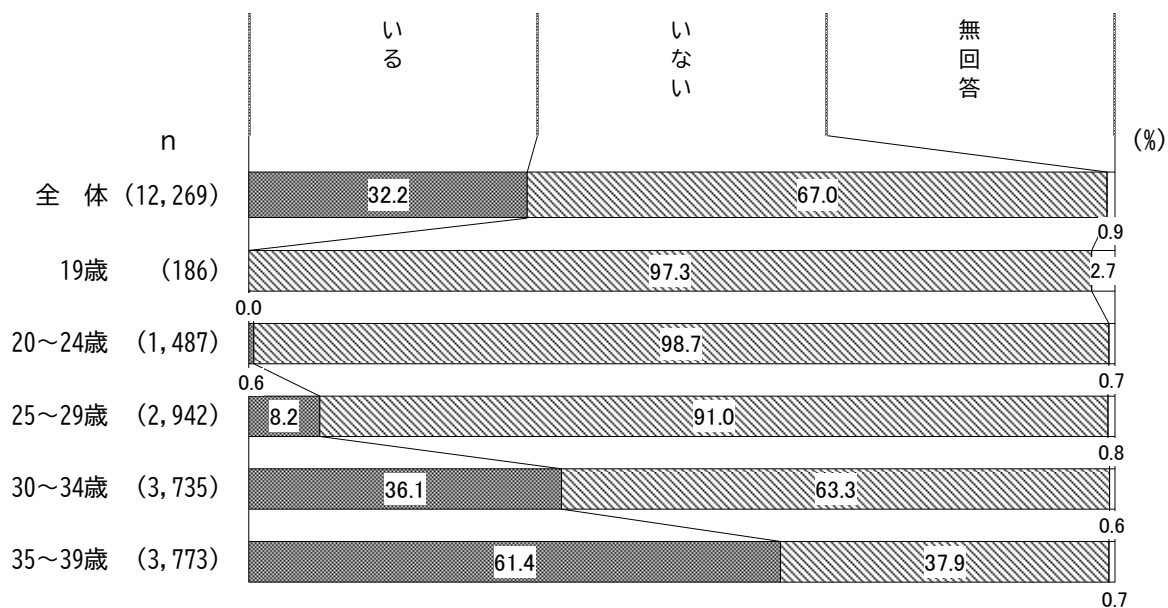
		回答数（n）	住まいや暮らしへの経済的支援	雇用や収入の安定化を目指した施策	出会いの場や機会を創出するための支援	結婚やパートナーシップに関する情報の提供	出会いに関するサービス利用の支援（マッチングアプリ登録費用の補助など）	公的相談所や公的相談会の開設	その他	特にない	無回答
単位：％											
全体		5,956	50.3	37.5	22.2	15.6	13.4	7.1	2.6	28.3	2.7
年齢層別	19歳	181	45.9	39.2	18.8	13.8	6.6	4.4	2.8	33.1	2.8
	20～24歳	1,439	52.3	41.7	18.3	12.7	9.6	5.5	1.5	28.1	2.8
	25～29歳	1,917	56.3	38.8	21.0	16.0	12.4	5.9	2.1	25.2	2.3
	30～34歳	1,385	46.4	32.7	24.5	17.2	16.8	8.4	3.3	30.0	2.3
	35～39歳	957	42.7	35.0	27.8	17.0	17.5	10.4	3.8	30.9	3.1

(3) 子どもの有無

問40 あなたは、子どもがいますか。現在妊娠中のお子さんや、里親や養子縁組として育てているお子さんも含めてお答えください。(○は1つ)

子どもの有無は、全体でみると「いない」が67.0%、「いる」が32.2%となっています。

年齢層別でみると、「いる」は年齢層が上がるにつれて高くなり、35～39歳で61.4%となっています。一方、「いない」は24歳以下でほぼ全数を占めています。



(4) 子どもの人数

問40で、「1 いる」とお答えの方にうかがいます。
 問40-1 子どもは何人いますか。

子どもの人数は、全体でみると「1人」が 58.4%と最も高く、次いで「2人」が 35.0%、「3人」が 5.3%となっています。

年齢層別でみると、「2人」は年齢層が上がるにつれて高くなり、35～39歳で 43.2%となっています。

		回答数 (n)	1人	2人	3人	4人以上	無回答
単位：%							
全体		3,947	58.4	35.0	5.3	0.7	0.6
年齢層別	19歳	0	-	-	-	-	-
	20～24歳	9	88.9	11.1	0.0	0.0	0.0
	25～29歳	242	88.4	8.7	1.7	0.0	1.2
	30～34歳	1,348	71.1	25.7	2.6	0.1	0.4
	35～39歳	2,315	48.0	43.2	7.4	1.0	0.4

※各年齢層別において、回答数(n)が30未満の項目は参考値とする。

(5) 理想の子どもの人数

問41 あなたは、子どもを何人育ててみたいですか。子どもを望んでいない、考えていない場合は「0」を記入してください。

理想の子どもの人数は、全体でみると「2人」が 46.7%と最も高く、次いで「0人」が 18.9%、「3人」が 16.5%、「1人」が 13.1%となっています。

年齢層別でみると、いずれの年齢層でも「2人」が最も高く、25～29歳で 50.1%となっています。一方、「0人」は19歳で 31.7%と高く、年齢層が上がるにつれて低くなっています。

		回答数 (n)	0人	1人	2人	3人	4人以上	無回答
単位：%								
全体		12,269	18.9	13.1	46.7	16.5	2.0	2.9
年齢層別	19歳	186	31.7	9.1	41.4	13.4	1.1	3.2
	20～24歳	1,487	25.6	10.6	45.1	14.1	1.5	3.1
	25～29歳	2,942	19.7	12.8	50.1	13.3	1.4	2.8
	30～34歳	3,735	17.3	13.4	48.5	16.6	2.0	2.3
	35～39歳	3,773	16.4	14.5	43.6	20.1	2.7	2.8

(6) 理想の数の子どもを育てるために必要なこと

問41で、「1人以上」とお答えの方にうかがいます。

問42 育ててみたい数の子どもを育てるには、どのようなことがあれば良いと思いますか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

理想の数の子どもを育てるために必要なことは、全体でみると「子どもと子育てに関する経済的支援施策がある」と「幼稚園・保育園・認定こども園などへの入園の見通しが立っている」が約7割と最も高く、次いで「希望どおり産休や育休が取得できる」、「妊娠・出産・子育てまで一貫した支援がなされている」、「自分や家族の勤務先の長時間勤務の削減など、働き方が見直される」、「住宅費用の補助など住環境への支援がある」が6割台半ばと高くなっています。

年齢層別でみると、「子どもと子育てに関する経済的支援施策がある」は25～29歳と30～34歳で7割台と高くなっています。また、「幼稚園・保育園・認定こども園などへの入園の見通しが立っている」は30～34歳で71.3%、「妊娠・出産・子育てまで一貫した支援がなされている」は25～29歳で70.5%となっています。「希望どおり産休や育休が取得できる」は24歳以下で7割台、「自分や家族の勤務先の長時間勤務の削減など、働き方が見直される」も19歳で71.9%と高くなっています。

		回答数（ n	子どもと子育てに関する経済的支援施策がある	幼稚園・保育園・認定こども園などへの入園の見通しが立っている	希望どおり産休や育休が取得できる	妊娠・出産・子育てまで一貫した支援がなされている	自分や家族の勤務先の長時間勤務の削減など、働き方が見直される	住居費用の補助など住環境への支援がある	理由を問わず子どもを預けられるサポーター体制（病児保育や一時預かりなど）が整備されている	家族の協力・理解が得られる	勤務先に育児短時間勤務制度がある	妊娠・子連れで外出しやすい施設やサービスが地域に整っている	子どもがいても同じ勤務先、部署でキャリアアップが可能な環境がある	親や家族からの支援が得られる	自分や家族の転勤への配慮がなされる
単位：％															
全体		9,596	69.7	69.5	66.7	66.2	65.4	64.6	56.6	54.0	50.4	46.7	44.9	43.7	40.9
年齢層別	19歳	121	59.5	64.5	75.2	66.9	71.9	48.8	48.8	55.4	44.6	37.2	52.1	52.1	42.1
	20～24歳	1,061	66.8	67.4	72.5	64.6	63.8	59.1	47.4	55.2	50.5	39.9	50.7	48.5	45.1
	25～29歳	2,281	70.6	69.0	69.8	70.5	63.7	68.6	52.9	51.7	52.6	44.9	47.4	43.5	42.7
	30～34歳	3,002	71.5	71.3	68.6	68.8	67.2	66.6	59.4	51.9	51.9	49.9	44.3	42.5	41.1
	35～39歳	3,050	68.7	69.0	60.1	61.0	65.2	62.1	60.3	57.3	47.4	47.5	41.0	43.0	37.9

単位：％		回答数（n）	子どもがいても同じ勤務先、環境で継続して就業できる環境がある	産後ケア・産後うつへの支援が取組がなされている	不妊治療に対する助成が充実している	子どものことと勤務先へ復職できる環境がある	子育ての細かいニーズに対応した多様なサービス（NPO、企業）から育児サービスが得られる	身近に仕事と子育てを両立している手本となる人がいる	友達や近所の人からの支援が得られる	養子縁組制度の理解が進み、充実している	里親制度の理解が進み、充実している	その他	特にな	わからない	無回答
全体		9,596	40.9	39.4	38.0	37.4	24.5	22.4	17.5	8.2	8.0	2.5	0.4	0.5	0.2
年齢層別	19歳	121	49.6	38.0	24.8	44.6	25.6	29.8	26.4	12.4	13.2	4.1	0.8	0.8	0.8
	20～24歳	1,061	48.5	39.8	31.5	41.8	24.1	26.0	21.0	10.7	10.6	1.3	0.3	1.0	0.5
	25～29歳	2,281	42.6	43.5	39.8	38.7	24.1	23.7	16.8	8.9	8.7	2.2	0.3	0.4	0.2
	30～34歳	3,002	40.1	39.2	41.0	35.7	24.4	22.1	16.1	6.9	7.0	2.2	0.3	0.1	0.1
	35～39歳	3,050	37.2	36.5	36.5	36.1	24.7	19.9	17.7	7.8	7.5	3.5	0.8	0.6	0.2

文京区若者の生活と意識に関する調査報告書

－ 概要版 －

令和7年4月

発行：文京区

編集：子ども家庭部子育て支援課子育て支援推進担当

〒112-8555 東京都文京区春日1-16-21

電話 03-3812-7111（代表）
